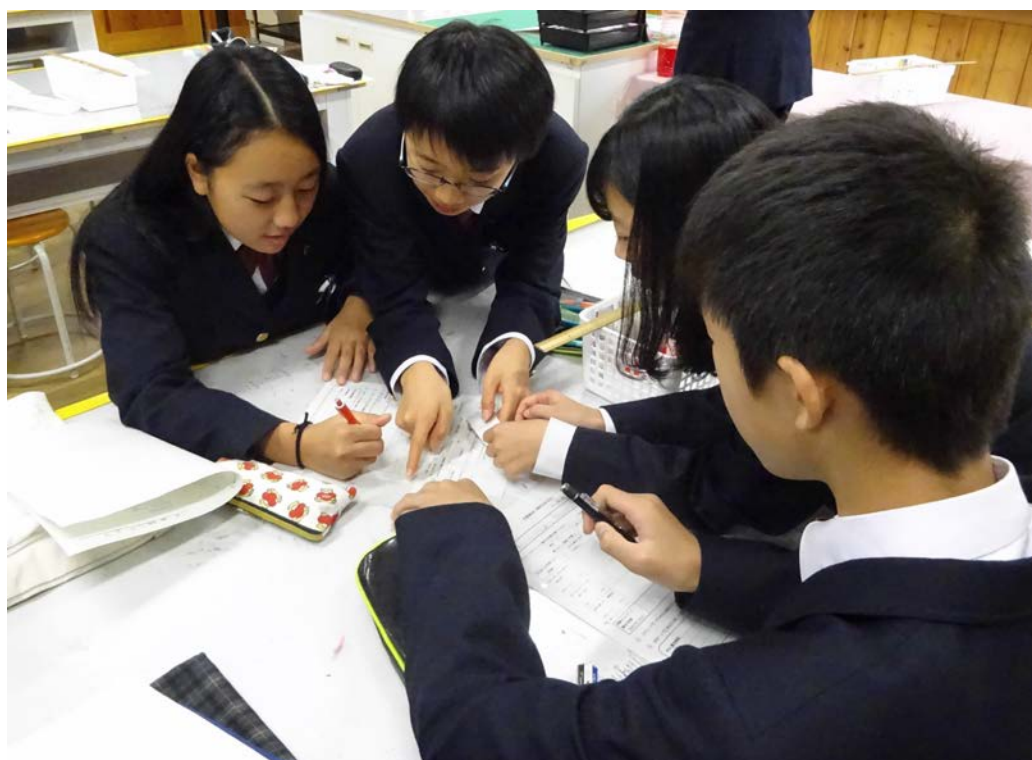


教 育 要 覧

平 成 3 0 年 度



大町市が進める『協働の学び』～対話によりものごとを深く追及する授業～

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	6
5	関係委員会等.....	7
6	教育委員会の組織.....	9
7	教育委員の事務分掌.....	10
8	教育予算.....	13
9	教育行政のあゆみ.....	15
II	学 校 教 育	29
1	市内小中学校.....	31
2	学校施設.....	41
3	学校別児童生徒及び学級数.....	42
4	小中学校教職員数.....	44
5	外国人英語指導助手.....	45
6	通学区.....	45
7	小規模特認校制度.....	46
8	山村留学生受け入れ状況.....	46
9	就学援助.....	47
10	中学校卒業後の状況.....	49
11	奨学金.....	51
12	私学振興.....	53
13	教員住宅.....	53
14	コミュニティスクール.....	54
15	教育支援委員会.....	56
16	特別支援教育.....	56
17	キャリア教育.....	58
18	中間教室.....	59
19	不登校・いじめの状況.....	60
20	いじめ防止対策.....	61
21	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	64

	22	通学の安全確保に関する取り組み	65
	23	学校給食	67
Ⅲ		生涯学習推進と社会教育	69
	1	生涯学習・社会教育	72
	2	青少年	75
	3	文化財	77
	4	人権教育	91
	5	公民館	97
	6	図書館	101
	7	山岳博物館	106
	8	民族資料館	112
	9	文化会館	114
	10	女性未来館ピュア	116
	11	大町市文化財センター	118
	12	国重要文化財旧中村家住宅	118
	13	社会教育施設一覧表	119
Ⅳ		社会体育	121
	1	社会体育	122
Ⅴ		資料集	133

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の北西部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地は旺盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929
28	11,844	28,517	13,861	14,656

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
平成29年	11,871	28,124	13,691	14,433
30	11,910	27,741	13,478	14,263

4 教育委員、理事者

(1) 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
教育長	荒井今朝一	平21.4.1 再任 平25.4.1 再任 平29.4.1	大町市平3745	教育長就任 平21.4.1
同職務代理者	中山晴隆	平29.5.17	大町市常盤3608-1	教育長職務代理者就任 平30.2.6
委員	黒田幸雄	平23.8.13 再任 平27.8.13	大町市社5628-9	
委員	仲原直美	平26.9.26 再任 平30.9.26	大町市美麻3388-5	
委員	甘利道子	平30.2.6	大町市大町5835-22	

(2) 理事者

役職名	氏名	就任年月日	住所
市長	牛越徹	平18.7.14	大町市常盤5740-2
副市長	吉澤義雄	平26.8.12	大町市大町5445-7

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教 育 支 援 委 員 会	大町市教育支援委員会設置条例	22 以内	2
学 校 評 議 員	大町市学校評議員設置要綱	8 "	1
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
情報教育推進委員会	大町市情報教育推進委員会設置要綱	10 "	1
通学路安全推進会議	大町市通学路安全推進会議設置要綱		1
学 校 運 営 協 議 会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	1
学 校 運 営 委 員 会	大町市学校運営委員会の運営に関する要綱	15 以内	1
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
社 会 教 育 委 員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
常盤公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
社公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
八坂公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
美麻公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置および管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文化会館運営委員会	大町市文化会館条例	10 "	2
女 性 未 来 館 ピ ュ ア 運 営 委 員 会	大町市女性未来館ピュア設置および管理に関する条例	8 "	2
文化財保護審議会	大町市文化財保護条例	7 "	2
青 少 年 問 題 協 議 会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
青少年補導委員協議会	青少年補導委員協議会会則		2
子ども会育成連絡協議会	子ども会育成連絡協議会規約		1
青少年育成市民会議	青少年育成市民会議規約		2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20 "	2
学校施設開放運営協議会	大町市立学校の施設の開放に関する規則	15 以内	

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員 任期
解放子ども会運営委員会	大町市解放子ども会運営委員会規程		1
人 権 教 育 推 進 協 議 会	大町市人権教育推進協議会規約	30 以内	2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱	各校1名	1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		1
人権・同和教育推進懇談会	人権・同和教育推進懇談会設置要綱	10 以内	2
生涯学習のまちづくり 推 進 本 部	大町市生涯学習推進のまちづくり推進本部設置要綱		2
美 術 振 興 専 門 委 員 会	大町市附属機関に関する条例	10 以内	2
科 学 振 興 会	大町市科学振興会規約		2
八 坂、美 麻 山 村 留 学 推 進 協 議 会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2

7 教育委員会の事務分掌

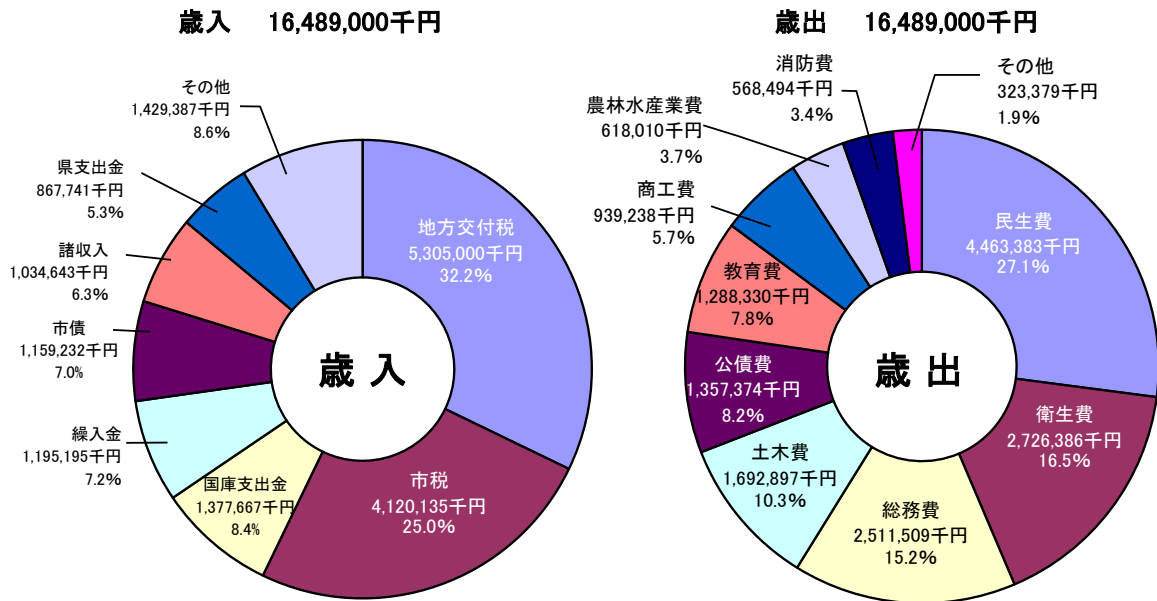
課	係	事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願及び陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 教職員の健康診断等 14. 児童生徒の就学援助 15. 特別支援教育就学奨励費 16. 奨学金 17. 文書の受付及び発送 18. 公文書の公開 19. 個人情報の保護 20. 私学助成 21. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 22. 児童生徒の就学 23. 教科書事務 24. おおまちの子表彰 25. 学校業務改善
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. 情報教育 8. 学校運営協議会（学校運営委員会） 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 中間教室 18. 教育相談 19. 学校保健、児童生徒の健康診断 20. 外国語教育
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理 7. 学校給食共同調理場の運営
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

課	係	事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育計画 4. 社会教育委員 5. 社会教育関係施設・係の連絡調整 6. 社会教育関係団体の指導助言 7. コミュニティ施設整備支援 8. 大町公民館分室 9. 蔵の音楽館 10. 文化・芸術の振興 11. 美術振興専門委員会 12. ギャラリー・いーずら 13. 成人式 14. 科学振興 15. 信濃木崎夏期大学 16. エネルギー博物館 17. リーダーバンク 18. 青少年問題協議会 19. 青少年センター 20. 青少年補導委員協議会 21. 青少年育成市民会議 22. 子ども会育成連絡協議会 23. 青少年関係団体
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 人権・同和教育推進懇談会 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 活動団体の育成
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障害者サービス 9. 広報 10. 読書推進
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理
	女性未来館 ピュア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示

課	係	事 務 分 掌
社会教育施設	八坂情報コミュニティセンターアキツ	1. 運営、管理
体 育 課	社会体育係	1. 社会体育総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館	山岳博物館	1. 博物館資料の収集・整理・保管 2. 調査研究 3. 教育普及 4. 案内窓口・展示レファレンス活動 5. 展示業務（常設展示・企画展示・特別展示） 6. 動植物飼育栽培繁殖 7. 山岳図書資料館の管理 8. インターネット・ウェブサイトの運営 9. 「山と博物館」等の情報発信 10. 資料の受贈・受託及び貸出 11. 年報・紀要の発行 12. 山岳博物館協議会 13. 大町博物館連絡会との連携 14. 信州大学山岳科学研究所等との研究協力 15. 友の会等関係団体との提携

8 教育予算

(1) 平成30年度一般会計当初予算



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	4,120,135	25.0 %		1 議 会 費	154,428	0.9 %	
2 地 方 譲 与 税	183,000	1.1		2 総 務 費	2,511,509	15.2	
3 利 子 割 交 付 金	3,000	0.0		3 民 生 費	4,463,383	27.1	
4 配 当 割 交 付 金	9,300	0.1		4 衛 生 費	2,726,386	16.5	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	5,400	0.0		5 労 働 費	138,950	0.8	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	540,000	3.3		6 農 林 水 産 業 費	618,010	3.7	
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,700	0.0		7 商 工 費	939,238	5.7	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	36,600	0.2		8 土 木 費	1,692,897	10.3	
9 地 方 特 例 交 付 金	7,700	0.0		9 消 防 費	568,494	3.4	
10 地 方 交 付 税	5,305,000	32.2		10 教 育 費	1,288,330	7.8	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,900	0.0		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	62,044	0.4		12 公 債 費	1,357,374	8.2	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	342,717	2.1		13 予 備 費	30,000	0.2	
14 国 庫 支 出 金	1,377,667	8.4					
15 県 支 出 金	867,741	5.3					
16 財 産 収 入	14,025	0.1					
17 寄 付 金	20,001	0.1					
18 繰 入 金	1,195,195	7.2					
19 繰 越 金	200,000	1.2					
20 諸 収 入	1,034,643	6.3					
21 市 債	1,159,232	7.0					
歳 入 合 計	16,489,000	100.0		歳 出 合 計	16,489,000	100.0	

(2) 平成30年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		126,780
	1 教育委員会費	4,706
	2 事務局費	122,074
2 小学校費		294,709
	1 小学校管理費	125,396
	2 小学校教育振興費	169,313
3 中学校費		147,729
	1 中学校管理費	57,890
	2 中学校教育振興費	89,839
4 社会教育費		362,615
	1 社会教育総務費	78,823
	2 青少年費	6,205
	3 公民館費	105,682
	4 図書館費	39,606
	5 文化会館費	119,684
	6 文化財保護費	12,615
5 保健体育費		269,753
	1 体育振興費	58,761
	2 体育施設費	70,063
	3 学校給食費	140,929
6 山岳博物館費		86,744
教育費合計		1,288,330
5 労働費		13,917
1 労働諸費	2 労働施設費	13,917

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施 ～
9 日
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市
議会へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを
市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築され
るまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計
画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9 第 12 回県美術展(大町公民館) ～13 日
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校) ～2 日
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会 ～31 日
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15 第 33 回国民体育大会やまびこ国体 ～20 日
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16 仁科神明宮遷宮祭 ～18 日
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
～5月5日
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
- 3.13 東小学校校歌発表会
- 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
- 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
- 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
- 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
- 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
- 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
- 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
- 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
- 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
- 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
- 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
- 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
- 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
- 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
西小学校開校
図書館に障がい者用便所を増築、完成
- 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
- 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
- 7. 1 市制 30 周年記念式典
市史第 1 巻・第 5 巻刊行
- 7. 9 西小学校プール完成
- 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
- 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
- 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、
ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
- 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
- 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
- 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
- 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足
民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)

- 4. 1 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公
開始まる
- 7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
- 9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
- 11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億
5,000 万円)
- 61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
- 3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいがインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に
死亡)
- 4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部 ～27 日
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技 ～31 日
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
- 11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
- 11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
- 62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
- 4. 3 南小学校開校・入学式
- 4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
- 5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)
- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)

- 9.20 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人) ～30 日
- 11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
- 63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
「市内遺跡分布調査報告書」発刊
家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
「来見原遺跡調査報告書」発刊
- 4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
- 8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインSTEIN氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
- 11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場) ～30 日
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
- 4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
勤労青少年ホームを補助執行
- 4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
- 7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催 ～29 日
- 10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
- 2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
- 3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
- 3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)
- 3.15 市科学振興賞 第 1 回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2 億 300 万円)

- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人 ～20日
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4～6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがい贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
～8月25日
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) "
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命
- 6. 2 カモシカ2頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手プリンデーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了

- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
～30 日
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23 第 1 回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催 ～24 日
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊
- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)

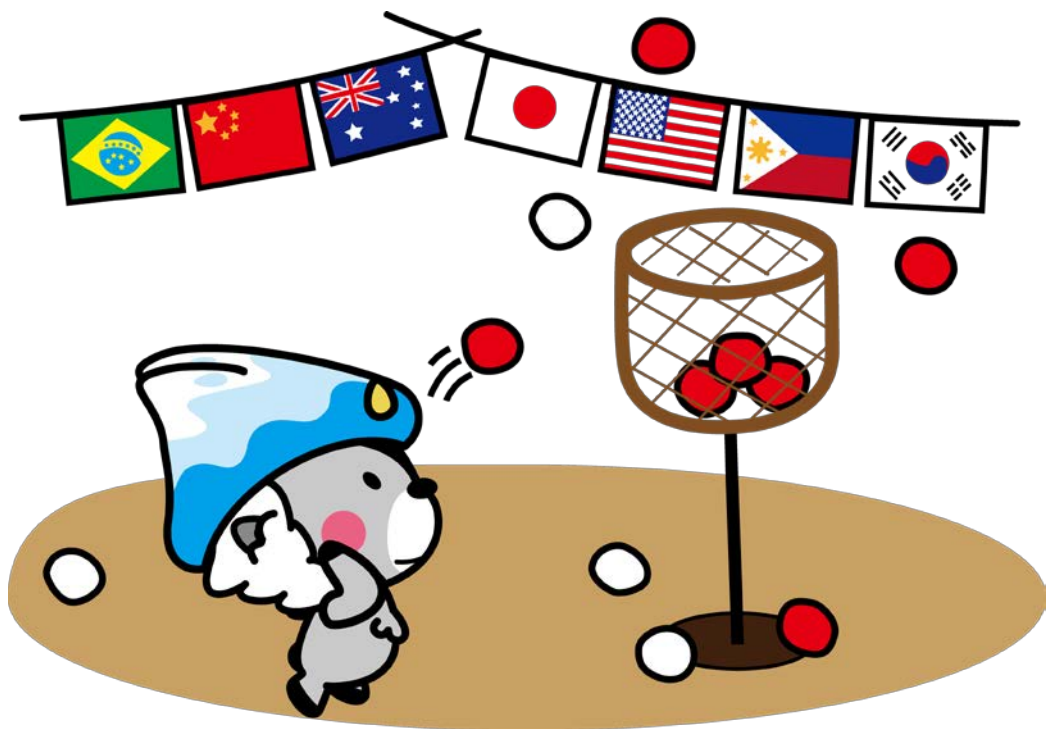
- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3 「郷土学習冊子」新訂版発行
- 3. 新図書館竣工
- 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第3期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12戸)
- 11. 4 平成14年度から実施の総合的な学習の時間の試行事業として、大町市公民館が企画運営する学社融合事業を北小学校5年で1年間授業として実施
- 11. 8 大町市と坂北村の子ども会交流会を坂北村で開催(翌年は平公民館で開催)
- 11.10. 1 新図書館オープン
- 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連10年推進本部設置
- 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
- 8.31 第1回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
- 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
- 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
- 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
- 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
- 9.24 山岳博物館創立50周年記念登山。爺ヶ岳
- 9.28 第15回全日本シニアソフトボール大会開催(48チーム) ~30日
- 10. 「第2次大町市生涯学習推進プラン」発刊
- 10.13 山岳博物館50周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
- 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
- 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
- 3.15 山岳文化都市宣言
- 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費3,980万円)
- 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
- 5.24 第20回全国シニアソフトボール大会開催(96チーム) ~27日
- 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
- 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
- 4. 第4期「大町市社会教育計画」発刊
- 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
- 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
- 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工
- 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式

- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
 - 6.10 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会(～11)
第 10 回北信越シニアソフトボール大会(～11)
 - 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
 - 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
 - 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
 - 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
 - 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 // チェロ アントニー発令
 - 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
 - 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
 - 11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令
- 26. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)

- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26. 3 「第4次大町市生涯学習プラン」発刊
「大町市スポーツ推進計画」策定
- 26. 4. 1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8. 3 外国人英語指導助手マッケイ クリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
- 27. 3 「ふるさと・きのう・きょう・あした 私たちの大町」新訂第4版発行
- 27. 4. 1 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
- 7. 4 山岳博物館ライチョウ舎竣工式
- 7.18-19 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
- 10.31 大町東小学校 35周年記念式典
- 11.17 第1回大町市総合教育会議
- 28. 1.25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 28. 3 常盤公民館太陽光発電設備設置
- 3.31 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校
- 28. 4. 1 長野県大町岳陽高等学校開校
大町南小学校及び大町北小学校に学校運営委員会設置
(コミュニティスクール化)
- 28. 4 生涯学習リーダーバンク制度改定
- 6.21 乗鞍岳よりニホンライチョウの卵を山岳博物館にて受入れ、飼育開始
- 7.16-17 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.19 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルス銅メダル獲得
- 8.29 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
(祝賀パレード、銅メダルをお祝いする会開催)
- 9.30-10.1 美麻小中学校 40周年記念梨の木祭
- 10. 1 仁科台中学校 50周年記念式典
- 10.15 ライチョウ会議長野大会開催(於:大町市文化会館)
- 10.21 大町北小学校 40周年記念音楽会
- 28. 10 長野県信濃美術館移動展開催(ギャラリー・いーずら)
- 12. 8 美麻小中学校「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞
- 12.10 ニホンライチョウ2羽逸出(うち1羽についてはその日のうちに捕獲)
- 12.11 大町市文化会館開館 30周年記念式典
- 12.28-29 第3回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施

- 29. 3 第7期大町市社会教育計画策定
- 29.3.31 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪(氷河)調査団活動終結(26～28年度)
- 4.1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
外国人英語指導助手 カマゼルト ショーン氏任命(派遣)
- 5.17 中山晴隆氏教育委員に任命
- 7.2 ニホンライチョウ第2世代(大町産卵)雛誕生
- 7.14 ニホンライチョウ第2世代(上野産卵)雛誕生
- 7.22-23 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.1 外国人英語指導助手 赤羽 タミー氏任命
- 8.27 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、第23回世界バドミントン大会女子シングルス金メダル獲得
- 9.29 大町市運動公園 第二屋内運動場竣工
- 9.30 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 12.29 第4回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施
- 30.1.1 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪が正式に氷河として認められる。
- 2.6 甘利道子氏教育委員に任命
- 3.12 山岳博物館付属園 新ライチョウ舎竣工
- 4.1 外国人英語指導助手 グレニー ケビン氏任命(派遣)
- 4.15 山岳博物館友の会創立40周年記念パーティー開催
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.6 外国人英語指導助手 リム ファミン氏任命
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命(再任)

II 学 校 教 育



学 校 教 育

基 本 方 針

これからの学校教育は、生涯学習の基礎づくりをすることを前提において、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応しうる心豊かでたくましい人間性を培うことを目標とします。そのために、以下のことを視点にすえて具現を図っていきます。

- 1 常に、自発的・創造的に学び続ける強い意志と態度を育むために、一人ひとりが自分の課題をもち、自ら追求する問題解決的な学習や体験学習をとおして、学び方が身につくようにします。
- 2 発達段階に応じた基礎的・基本的な学習内容の習熟、生活の仕方についての能力と習慣の形成を図ります。
- 3 一人ひとりの個性や能力を生かすことを中心として、個性ある学級、特色ある学級づくりを進めます。
- 4 大町市の宝である自然や、仁科文化、山岳文化などを土台とした、豊富な地域素材を学習課程に位置づけて、郷土に対する理解と郷土愛の心を育てます。
- 5 学校の教育機能や施設を地域へ広く開放するとともに、地域の教育力を学校へ生かしていくように努めます。また、児童生徒の調査や観察、実習などの体験活動を地域ぐるみで促進します。
- 6 心身に障がいをもつ児童生徒が社会的に自立できるよう、障がいの種類や程度に応じた教育を推進します。
- 7 児童生徒が助け合い支えあう中で、各種ボランティア活動への積極的な参加を図るとともに、福祉教育や環境教育、安全教育、同和教育、性教育などの内容を充実します。

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	まる やま しん いち 丸 山 伸 一	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4773番地3	よし ざわ きよ 吉 澤 清	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	あがた くに ひこ 縣 邦 彦	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	しお しま まなぶ 塩 島 学	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190
八坂小学校	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	きくら い ひろし 櫻 井 洋	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
第一中学校	昭和34年4月1日	大町市大町4528番地	やま ぎき あきら 山 崎 晃	TEL. 22-1262 FAX. 22-4779 有線 22-1262
仁科台中学校	昭和40年4月1日	大町市大町3759番地	きた ざわ たけ し 北 澤 猛 史	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817
八坂中学校	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地	ひら はやし しん いち 平 林 伸 一	TEL. 26-2020 FAX. 26-2020

(3) 義務教育学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
美麻小中学校	平成29年4月1日	大町市美麻27503番地	たか の つよし 高 野 毅	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(4) 中間教室

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	徳 原 嗣 久 柳 澤 希世美 清 水 眞 弥	TEL. 23-6418

平成30年度
大町市立大町東小学校



グランドデザイン

【東小CS 願う「東の子」の子ども像】

- ・ふるさとや地域を愛する子ども
- ・思いやりがあり、人間関係を大切にしている子ども
- ・学力・体力があり、たくましい子ども
- ・心身ともに元気で自己表現できる子ども

コミュニティスクールの取り組み

- 東小CS学校運営委員による教育の効果検証
- 学習支援室等を活用しての適応指導による登校促進
- スクラムネット等による支援検討
- 読み聞かせ・囲碁ボランティア等による児童の個性の伸長
- 東小CSの行事安全全部による見守り活動
- 保護者・子ども・地域の関係者との協働による教育環境整備

重点目標
「支え合い、高め合い、表現する授業」

学校教育目標

・きたえる ・思いやる ・求める

【学校経営の理念】
「子どもと向き合い 関わる学校」
くめざす学校像>
1. すべての活動を通して子どもの自己有用感を高める学校
2. 「子どもを真ん中において考える教育」を実践する学校

自ら学ぶ 共に学ぶ(学力向上)

たくましい体 たくましい心 <ul style="list-style-type: none"> ○東っ子マラソン ○全校体育 ○新体力テスト ○児童会活動 ○健康教育 「東っ子元氣集会」 	あいさつ ふれあい 支え合い <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○学年・学級づくり ○道徳・人権教育 ○交流活動 ○飼育、栽培活動 ○児童会活動 	授業改善 (1)授業改善 「東小学習スタイル」や「ねらい・めりほり、見とだけ」を意識した授業づくり 授業の一人一公開 (2)つづける力の検証 PDCAサイクルによる検証と見直し CRTIによる効果検証 (3)指導力の向上 教師としての専門性を高める研修 職員研修の充実(児童理解解など) (4)指導カリキュラムの作成と見直し 全校研究テーマ 「主体的に学びあい、豊かに表現する子どもの育成」 ☆一人一人の子どもの実態に合う教育課程の編成(カリキュラムマネジメント) ☆一人一人の子どもが自らの考えを自分の言葉で表現できるための授業研究 ☆子どもが、自分で自分の生活を改善し、学力を向上させようとする力をつけるための取り組み	家庭学習 <低学年> ・音読、計算などの基礎基本を中心に家庭学習習慣の定着 <中学年> ・音読、計算などの基礎基本を継続的に取り組みながら、文章題にも取り組む <高学年> ・知識や技能の定着の課題だけでなく、それを活用する課題を意図的に出題
--	--	--	---

地域や保護者との連携

- ・「東小グランドアッププラン」への取り組み (A学習習慣、B学ぶ意欲、C基本的生活習慣、D体験ふれあい、E豊かな心、F勇気づけ) ・「きらり おおまち サンプラン」
- ・学級、学年通信・学校便り・PTA新聞による情報の発信 ・家庭学習の手引きの活用
- ・学校開放と行事における教育活動へのアンケート
- ・地域と連携して取り組むふるみん回収 ・信州型コミュニティスクールの取り組み

地域の環境や人に学ぶ活動

- ・豊かな自然の中で学ぶ野外体験学習
- ・地域の方を講師に招いて行う体験学習
- ・地域のお年寄りや福祉施設との交流
- ・信州型コミュニティスクールの

子ども一人一人を大切にする教育

- ・記録の積み重ねを基にした確かな児童理解
- ・進んで子どもと遊ぶコミュニケーション作り
- ・子どもの変化を見逃さないきめ細かな目配りと場に応じた速やかな対応
- ・日常的な情報交換と全職員での課題の共有化全校体制での支援・協力
- ・保護者との共通意識・共通理解を大切にした支援

学校教育目標

○たくましい子どもに ○思いやりのある子どもに

基本理念

○進んでやる子どもに

～本気で取り組み常に一流をめざそう～

問題解決を大切にした取り組み

心づくり

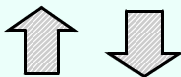
- 自他のよさを認め合う
学級づくり
・友だちの「きらり」を見つける。
- あいさつが響きあう学校
・笑顔で 明るく 自分から
・校内で 地域で 家庭で
- めざせ清掃達人
・さしすせそうじ
・なかよしたてわり清掃



学びづくり

- 学び合い高め合う喜びを
感じられる授業づくり

- ねらい めりはり 見とどけ
・追究の見通し
・個人追究・学びあい
・振り返りの時間の確保
- 基礎学力定着・活用力向上
・チャレンジタイム活用
- 家庭学習の習慣形成
・「家庭学習の手引き」の活用
・家庭学習課題の工夫
・読書習慣の形成



- 全国学調 P・C調査
CRT調査等の結果分析

体づくり

- 全校体育の充実
・器具・遊具・他者とかわる西小サーキット
・体力テストの実施・分析
・体力づくりメニューの作成
- 楽しさ味わう体育学習
・楽しくスタート『体ほぐし』
・運動がもつ特性を生かした授業づくり
- 日常に生きる健康教育
・自分の生活習慣を振り返る場の設定
・自分の体に関心をもつための授業実践の工夫

研究テーマ：学び合い高め合う子どもを求めて

本年度重点研究…算数、外国語・英語、ICT

自立と協調・研鑽による
共に成長する教職員集団

- ・子どもたちの良さと可能性を引き出す
- ・子どもに対する深い人間愛をもち、実践を続ける
- ・支え合う温かさと批正しあう厳しさをもって行動する

安全で、豊かな学びのある
環境の学校

- ・交通事故防止等、家庭地域とも連携しながら「危機管理」の徹底を図る
- ・自己肯定感、成就感を実感し、自分のよさや可能性を最大限に発揮できる豊かな学びの環境を目指す

保護者や地域に信頼され、
共に歩む学校

- ・PTA、さんぽみち、ちゃんちゃん会、読み聞かせ
- ・子どもの安全を守る地域連絡会
- ・桜の木を守る会、青風会、十日会

信州型コミュニティ・スクール

学校運営委員会(学校関係者評価)・学校支援ボランティア



平成30年度

大町南小学校の教育（グランドデザイン）

学校教育目標 ◎よくまなぶ子 ◎なかよしの子 ◎あかるくげんきな子

教育理念：楽しさを創り出す

めざす子ども像：「もっと〇〇したいな」「みんなで〇〇しようよ」

めざす教師像：子ども理解を深め、細やかに寄り添う教師

めざす学校像：子どもが主体性を発揮する学校

教育課題：学びの質を高める主体性の発揮

重点目標

自ら学びに向かう力の育成

学 級

学級を中心とした
より深い人間関係の構築

- ・地域資源を活用しながら、子どもの夢や願いを基にした、子どもと教師が一体となって創造する中核活動
- ・友だちと一緒に学ぶ楽しさ、関わる楽しさを実感する学級活動・授業

授 業

興味関心が継続し
学びの質を高める授業実践

- ・『大町南小授業スタンダード』に沿った、次時や単元全体の見通しがもてる授業展開
- ・各教科・領域の資質・能力に応じた授業実践

健 康

全校欠席ゼロを目指した
粘り強い心と体の育成

- ・松林マラソンや縄跳びを中心に、運動や遊びの継続的な取り組み
- ・子どもと教師の関わりの充実と、内面理解に心がけた細やかな支援

言 平

価 値

- ・子どもの夢や願いを基にした中核活動や、友だちと関わる楽しさを感じる学級活動・授業を継続的に展開できたか。

- ・『大町南小授業スタンダード』に沿って、子どもたちが次の授業や、単元全体の見通しをもち、学びの質を高める授業実践ができたか。

- ・松林マラソンや縄跳びを中心に、運動や遊びに年間通じて継続的に取り組めたか。
- ・子どもとの関わりを充実させ、内面理解に努めると共に、家庭や外部機関と連携しながら支援できたか。



— 学校目標 —
かしこく なかよく たくましく

めざす子ども像 **学び続ける子ども**

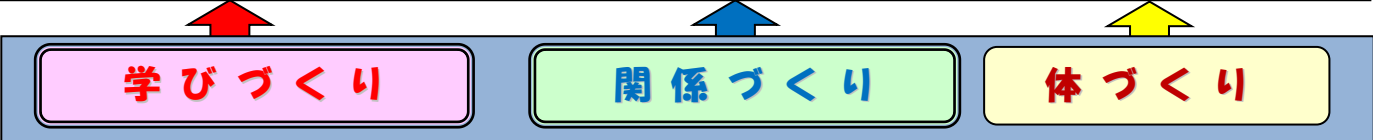
かしこく

なかよく

たくましく

教育理念 **未来を生きる子どもの今を見つめる学校づくり**

教育課題 **考える力・協働する力の育成**



◎「主体的な学び合いによって、見方・考え方を広げ、考える力を活性化する子ども」の育成に向けた実践

- ・「協働的な学び」（主体的・対話的で深い学び）による授業を全校で実践
- ・教師一人一人がテーマをもち、その実現に向けてアプローチしていく授業研究と研修
- ・各教科のつる力、役割等を示した「教科コンパス」の作成
- ・他教科との関連を意識した年間指導計画の見直し
- ・大町第一中との小中一貫教育

3つの学び方

- ・わからないということ
- ・友だちの声に耳をかたむけること
- ・なっとくするまであきらめないこと

◎総合的な学習の時間の充実

- ・「ふるさと大町」のもの・こと・人などの魅力ある材の選定
- ・探究型、問題解決型の学習

◎基礎的な知識の定着につなげる主体的な家庭学習

- ・授業とつながる家庭学習
- ・家庭学習の手引きの活用

◎コミュニケーション能力の向上

- ・気持ちのよいあいさつ
- ・うれしい言葉の伝え合い

◎異学年交流活動の充実

- ・姉妹学級交流
（清掃、給食、読み聞かせ、児童会祭り、なかよし集会、学級交流等）

◎居心地のよいクラスづくり

- ・クラスみんながめあてをもって取り組む学級文化の創造
- ・月1回、各クラスでエンカウンターやSSTを取り入れた授業
- ・楽しい学校生活を送るためのアンケートやQUの実施



◎継続による体力の向上

- ・学期に50周を目標にした「スマイルマラソン」への取り組み（冬期は、8の字なわとび）
- ・晴れた日は外遊び

◎年間を通じた多様な運動

- ・春の運動会
- ・持久走大会
- ・そり、スキー教室
- ・体力テストの結果の活用

◎健康的な生活習慣の確立

- ・「あいサポ」の周知
- ・元気しらべカードの活用
- ・さわやかチェックの活用



あいサポ (あいうえおサポート) 学校と家庭で連携して子どもを育てるサポートプラン

<p>あ あたたかい言葉がけと肯定的なかかわり!</p>	<p>い いっしょにつくろう生活リズム!</p>	<p>う うごかそう体、元気よく!</p>	<p>え えがおで挨拶・返事・靴そろえ!</p>	<p>お おおいに読書・家庭学習!</p>
-------------------------------------	---------------------------------	------------------------------	---------------------------------	------------------------------

学校長の願い
 ○特色あるきらり輝く八坂小
 ○共に体験し高め合う子
 ○自ら学び考え、表現できる子

学校教育目標
「八坂の心」でがんばる子ども
 ○やりぬく ○さがす ○かわいがる

地域の願い
 ○知徳体の調和のある教育
 ○挨拶や言葉遣いに配慮できる子
 ○登下校の安全

～学びたい 学ばせたい きらり輝く 楽しい八坂小～

「つながる」八坂コミュニティ・スクール
 地域と共に歩む (つくる まなぶ そだつ)

さんがくきょういくの推進

三学教育「知徳体」
 個に応じた指導・三つの学び
 ○基礎・基本の徹底
 …読書／音読／書く／振り返り／定着
 ○学び合いの学習
 …学びを深め、広げる小人数活動・たてわり班活動
 ○体・健康・心づくりの学習
 …マラソン／運動の日／歯の日／あいさつ／道徳／気づき清掃／人権教育／食育

山学教育「体験」
 地域環境を活かした体験活動
 ○体験を生きる力に
 …体験の教材化／産業体験／キャリア教育
 ○八坂の地域、自然に触れ合い楽しむ
 …遠足／畑づくり／棚田で米作り／畑づくり／八坂体験／きのこ栽培／一人一鉢
 ○地域の人と共に (山間小規模校をいかす) …花づくり／苗づくり／音楽会／運動会／かるもち／伝統行事／お祭り／郷土学習交流会／地区文化祭／奉仕作業

参画協育「地域の参加参画」
 共に楽しく学ぶ 開かれた学校づくり
 ○学校支援ボランティアと共に
 …個に応じた指導／学習支援／クラブ活動／総合的な学習の時間／お話カリヨン／学校環境整備
 ○交流学習
 …たけのこ保育園／八坂中学校／山村留学／デイサービスセンターみさか
 ○八坂のよさ、文化伝統を受け継ぐ教育 (誇りに思えるふるさと八坂に)
 …年中行事の伝承／PTA事業の推進／地域事業との連携／学校の公開

「目指す八坂学校」
 ○学校、家庭、地域、行政が、共に元気な八坂を創り出す。
 ○八坂の人、自然、文化、産業を深く理解し、「ふるさと八坂」を誇り、大切にすることの育成。
 ○保、小、中の連携の中で、知徳体をバランスよく育み、自分の成長を実感し、次の段階に進んでいける子どもの育成。

八坂学校全校研究テーマ
 自分の考えや判断をもとに、自信をもって表現できる子どもの育成～友との関わり合いを通して～

＜学力向上プラン＞

- ①中学校と連携した「八坂スタンダード」を構築し、協働した授業の実践をする。
- ②自己評価アンケートで「(学習が) できるようになった。」「学力がついた。」の割合を、児童は90%、保護者は80%にする。
- ③「学習問題」「学習課題」「まとめ」を板書計画に位置づけ、児童が見通しをもてる板書づくりに取り組むと共に、その質を高める。

＜今年度の重点＞

- ①学習や縦割り班活動などの関わり合いの質を高め、自らの体験を基にして考え、まとめ、発表することによる表現力の育成。
- ②9ヶ年を見通した教育課程を編成し、小中連携した付け加える力の明確化を図る。
- ③新しい教育課程 (外国語・外国語活動・道徳) の具体的な取り組みをより充実させる。
- ④業務の改善を図ることで子どもと向き合う時間を確保し、個別指導を充実させる。

教育目標 自立した学び手となる

【経営の理念】

「対話する学校」（「聴く」そして「伝える」）

めざす学校像：生徒をとりまく問題を授業で解決する学校

めざす教師像：生徒の存在を丸ごと受け入れ、生徒のことばや心の叫びに耳を傾ける教師

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

「対話する学校」を合言葉とする学校づくりと、協働の学びを軸とした授業実践を通して、論理的思考力を高め、自立した学び手を育成する

（協働の学びとは、「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと）

（協働の学びを軸とした授業における三つの学び方）

わからないと言うこと 友達の声に耳を傾けること 自分のわからなさを追究すること

めざす生徒像

（自立した学び手の姿）

- ・筋道立てて考え、気づいたことを正確に伝える生徒
- ・三つの学び方で学ぶ生徒
- ・礼儀（あいさつ）と勤労（そうじ）を尊重する生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

本質的な問いをすること

（重点1・学びづくり）

智慧を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある本質的な問いにより対話を活性化する。

（重点2・集団づくり）

生活上の諸問題や本質的な問いの解決に向けた対話活動を通して、生徒間に「同じだけど違う」「違うけど同じ」と言い合える人間関係を構築する。

《 教育システム 》

○自立した学び手が育つ学習システム

- ・生徒の論理的思考力を高めるため、思考の3つの「すべ」（比較する・関連付ける・分類する）を生かした授業づくりを進める。

○地域との協働システム（CS：コミュニティスクール）

- ・2年目を迎えた学校運営委員会のさらなる充実を図る。学校、家庭、地域の総意で学校づくりを進めていく。

○職員の研修システム

- ・ラーニング・コミュニティにより職員のキャリアアップを図る。研修内容は、授業クニック、専門研修、マネジメント研修とする。



学校教育目標

「自主」「友愛」「根性」

めざす生徒の姿

「仁」の心に満ちた生徒

- ☆ 意欲的、主体的に追究し、よりよく生きていこうとする生徒（自主）
- ☆ 相手を思いやる心をもった生徒（友愛）
- ☆ 自ら心身を鍛え、粘り強くやり遂げようとする生徒（根性）

めざす学校の姿

- ① 信頼される学校
- ② 学ぶ楽しさを育み、学び合える学校
- ③ 誰もが大切にされ温かな雰囲気のある安心・安全・元気な学校

目指す教師

- 信念を持って行動する教師
- 信頼される教師
- 生徒とともにいる教師
- 切磋琢磨する教師
- 夢や希望を語れる教師

本年度の重点

夢や希望をもち、一人ひとりが輝く学校

- ① 他を思いやる温かみのある人間関係づくり
- ② 自分を発揮し、みんながかかわる授業づくり

指導の基本姿勢

- 生徒の具体的な姿を見つめ、聴き、語り、褒める指導・支援を
- みんながかかわる授業で勝負する
- 生徒、保護者、地域との信頼関係づくりを
- 常に人権感覚を磨く自分に
- 凡事徹底、「時を守り、場を清め、礼を正す」

研究テーマ

主体的な取り組みを育む指導のあり方
～考えを伝え合い、重ね合わせ・教え合う活動を通して～

研究・研修の充実

- 1 学年、学級や生徒会での活動を通して、人間関係づくりを行う
→ 生徒や保護者と連携して、他を思いやり温かみのある学級・学年集団を目指す
- 2 生徒が自分を発揮し、対話を重ね、「わかった、できた」を実感する授業を目指す → 一人ひとりが活躍し、高まりを実感する活動
ICTの積極的活用

学校評価アンケートの生徒の到達目標

- …(29年度2回目)→(目標)
- (1) 学校生活が楽しい …(72%)→80%
 - (2) 楽しく安心できる …(48%)→60%
 - (3) 目標をもって生活している …(56%)→70%
 - (4) 思いやりをもち生活している …(52%)→70%
 - (5) 「分かる」「できる」授業 …(66%)→80%
 - (6) 授業中話し合い活動 …(65%)→80%
 - (7) 読書活動の充実
図書館の本 26364 冊
→24000 冊(1人65冊)借りる

【保護者・地域の皆様と共にく仁科台コミュニティスクールとの連携】

- * 地域に飛び込み、地域の教育力を取り込む学校
- * 生徒の成長を地域、保護者の皆さんと一緒に考える学校
- * 学校の悩みや問題を運営委員会に諮り、共に考え解決する学校

「きらりおおまちサンプラン」

- 「こころづくり」 ①あいさつ・読書・お手伝い 「からだづくり」 ②歩き・運動・外遊び
「リズムづくり」 ③健康・体力

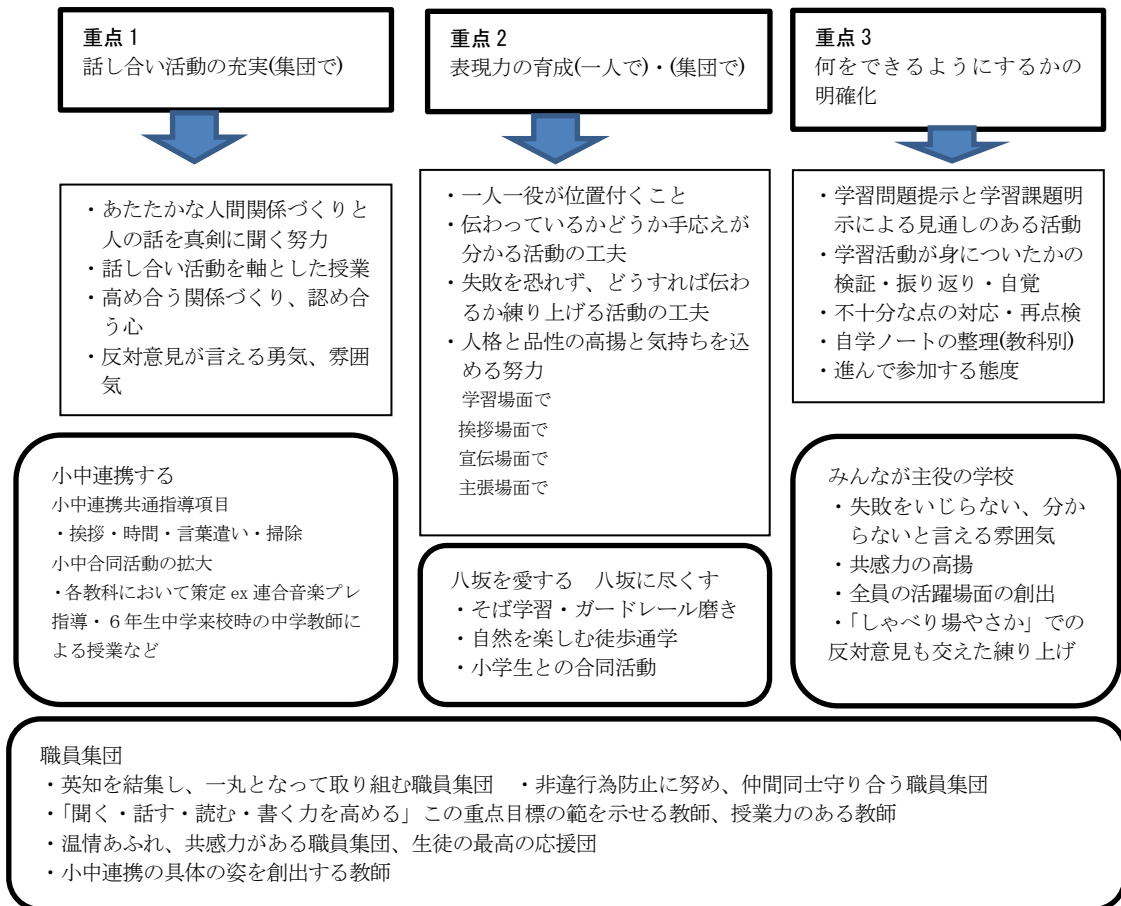
学校教育目標 「やさかの心」とめざす生徒像

☆やりぬく根性 〔たくましい子ども〕	☆さがし求める気迫 〔進んで学ぶ子ども〕	☆かわいがる心情 〔思いやりのある子ども〕
〔地域・保護者の願い〕 ・安心してのびのびと過ごせる、みんなが主役の学校 ・少人数を生かした教育 ・分からないことが聞けて自分で判断し、生きる ・自分の考えを主張できる ・八坂の外で困らない人間になってほしい		〔生徒の姿〕 ・諸活動に誠実に取り組む ・異年齢集団の活動を協力してできる ・自分の考えを書ける ・しつこいいじめやかからかいがない ・品のある思いを込めた言葉のやりとりが少ない

〔学校経営の理念〕 人間味あふれ八坂を愛し生きる喜びを感じながら学ぶ生徒の育成

〔本年度の重点〕

聞く・話す・読む・書く力を高



業務改善 ; 可能な限り毎週水曜日を定時退勤日とする。毎月いずれかの金曜日1日を完全定時退校日とする。8月13日から8月16日と12月29日から翌年1月3日までを閉校日とする。冬期は山手方面も6校時と部活後バス下校とし、部活は勤務時間内の活動とする。通年、朝部活・延長部活は行わない。

〔きらり おおまち サンプラン〕
 ころもづくり※気持ちを込める努力; 学習・挨拶・宣伝・主張場面等
 からだづくり※楽しい気分で行う努力; 通学・体育・体育集会・(部活)
 リズムづくり※学習スタイル・自学ノートへの取組の習慣化と生活習慣 (朝食・睡眠・メディアスイッチオフ)

平成30年度 美麻小中学校グランドデザイン



自律した学習者

よりよく生きるために、いつでも・どこでも・誰とでも学べる人

3つの学び方「わからないと言うこと」と「友達の声に耳を傾けること」「自分のわからないさを追究すること」を全ての子どもにも身につけます。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力を養います。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子どもの発達に応じた支援を基本にして、「聴く」姿勢により心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めます。

職員間の協働

対話を通して、思考力を働かせて主体的に学べる児童生徒

生涯学び続けるための基礎力
(基本的な生活力 中核的学力 社会力)

ジャンプ期 (8年～9年)

自らの生活を拓く学び

ステップ期 (5年～7年)

ものごとの根拠を探る学び

ホップ期 (1年～4年)

体験的な学び

協働の学び

地域との協働

ふるさと美麻を愛し、語り、想い続ける児童生徒

育てる会や美麻地区の皆様と協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

地域づくり会議と協働して、美麻地区文化祭などの地域行事に参加し、自分と社会とのつながりについて考える場を積極的に取り入れます。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々が学校づくりに積極的に参加できるようにします。

総合的な学習で、学校支援隊の方々や長野大学の先生と共に学ぶ場「美麻市民科」や「夢の時間」を設定し、ふるさと美麻との対話や自己との対話を深められます。

5・6年生による米国メンドシノーへの訪問や全校による交流を生かし、異文化理解と国際感覚を養います。

重点2 (体づくり)

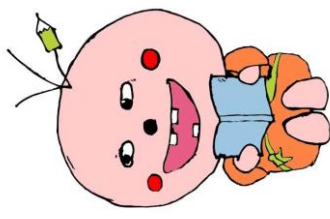
元氣アップ運動を継続し、持続可能な体力向上と健康生活の習慣化を目指します。

重点1 (学びづくり)

「聴く・問う」から始まる対話活動を基盤とし、「単元の核心」「単元のプロセス」を明確にした授業づくりを目指します。

重点3 (集団づくり)

自治活動や歌声づくりを基盤として、信頼し合う人間関係の構築を目指します。



平成30年度 教育課題 協働の学びの質を高める

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ美麻の子

教育理念 個の生き方や考え方を尊重する学校づくり

2 学校施設

(平成30年4月1日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地
	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	そ の 他 m ²	
大町東小学校	5,899	鉄筋 鉄骨 5,625 274	404	鉄筋 鉄骨 315 89	1,002	鉄筋 1,002	17,107	13,715	2,605	33,427
大町西小学校	7,360	鉄筋 鉄骨 6,963 397	409	鉄筋 鉄骨 308 101	1,218	鉄筋 1,218	21,626	13,169	1,138	35,933
大町南小学校	5,812	鉄筋 鉄骨 5,608 204	375	鉄筋 鉄骨 294 81	1,092	鉄筋 1,092	19,207	9,275	7,028	35,510
大町北小学校	6,609	鉄筋 鉄骨 6,415 194	347	鉄筋 鉄骨 270 77	982	鉄筋 鉄骨 982 69	17,158	11,750	3,439	32,347
八坂小学校	2,861	鉄筋 鉄骨 2,678 183	255	鉄筋 255	1,027	鉄筋 1,027	7,040	8,190	13,385	28,615
計	28,541	鉄筋 鉄骨 1,252 ###	1,790	鉄筋 鉄骨 1,442 348	5,321	鉄筋 鉄骨 5,321 69	82,138	56,099	27,595	165,832
第一中学校	6,681	鉄筋 木造 6,375 306	304	鉄骨 304	2,123	鉄筋 2,123	14,508	12,455	3,552	30,515
仁科台中学校	6,983	鉄筋 鉄骨 6,695 288	420	鉄筋 鉄骨 350 70	2,511	鉄筋 2,511	16,926	17,331	—	34,257
八坂中学校	2,167	鉄筋 鉄骨 木造 2,136 22 9	216	鉄骨 216	1,198	鉄筋 1,198	6,781	9,388	—	16,169
計	15,831	鉄筋 鉄骨 木造 15,206 310 315	940	鉄筋 鉄骨 350 590	5,832	鉄筋 5,832	38,215	39,174	3,552	80,941
義務 学校 教育 美麻中学校	3,361	鉄筋 鉄骨 3,193 168	504	鉄筋 鉄骨 379 125	1,227	鉄骨 1,227	10,809	12,948	2,567	26,324

3 学校別児童生徒および学級数

(1) 小学校

(平成30年5月1日現在)

学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計		特別支援学級の児童数										
	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	計	学級	教員数	学年	1	2	3	4	5	6	計
大町東小	16 (2)	1	10 (0)	1	17 (0)	2	12 (1)	1	13 (1)	1	14 (0)	1	17 (1)	31	176	7	10	知的障害	1	1			1		3
大町西小	25 (3)	2	16 (1)	2	17 (0)	1	18 (2)	2	22 (1)	2	20 (1)	2	22 (3)	42	239	11	11	知的障害				2		1	3
大町南小	24 (2)	2	19 (0)	2	22 (1)	2	19 (2)	2	27 (8)	2	24 (0)	2	27 (4)	51	255	12	13	知的障害	1	2	1	1		1	6
大町北小	18 (2)	2	23 (0)	2	24 (1)	2	31 (0)	2	25 (1)	2	29 (1)	2	38 (3)	67	305	12	11	知的障害					1	1	3
八坂小	2 (0)	1	3 (0)	1	4 (0)	(1)	4 (1)	1	6 (0)	1	4 (0)	1	4 (1)	6	34	5	5	知的障害							0
美麻前期	7 (0)	1	1 (0)	1	6 (2)	1	3 (0)	1	5 (1)	1	5 (0)	1	5 (1)	8	49	6	8	知的障害			1		1	1	3
合計	96 (13)	9	73 (9)	8	89 (6)	8	96 (12)	9	109 (21)	9	109 (13)	9	109 (15)	195	1058	53	53(5) 44(5) 103(3) 61(3)	計	13	10	9	18	24	15	89

(2) 中学校

学校名	1学年			2学年			3学年			計			特別支援学級の生徒数								
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	計	学級	学年	1	2	3	計		
第一中	男	32 (0)	76 (1)	3	47 (0)	88 (1)	3	43 (2)	86 (5)	3	122 (2)	250 (7)	9	19 16	知的障害	1		1	2	2	
	女	44 (1)			43 (3)			128 (5)			17 7										情緒障害
仁科台中	男	43 (4)	101 (6)	3	59 (2)	111 (7)	4	65 (0)	137 (4)	4	167 (6)	349 (17)	11	22 20	知的障害	2	2	2	2	4	
	女	58 (2)			72 (4)			182 (11)			17 7										情緒障害
八坂中	男	4 (1)	6 (1)	1	5 (1)	8 (2)	1	3 (0)	9 (1)	1	12 (2)	23 (4)	3	10 8	知的障害					0	
	女	2 (0)			6 (1)			11 (2)			3										情緒障害
美麻後期	男	3 (3)	8 (4)	1	4 (0)	10 (0)	1	4 (1)	8 (3)	1	11 (4)	26 (7)	3	5 5	知的障害	1				1	2
	女	5 (1)			4 (2)			15 (3)			6 6										
合計	男	82 (8)	191 (12)	8	115 (3)	217 (10)	9	115 (3)	240 (13)	9	312 (14)	648 (35)	26	55 44	計	12	10	13	35		
	女	109 (4)			102 (7)			125 (10)			336 (21)									44 24	

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を外数で表す
 ※ 八坂小学校2学年と3学年は複式学級
 ※ 教職員数は、育児休業等代替者を含む

4 小中学校教職員数

(平成30年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合		計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教授	講師	事務職員	栄養職員	計		教員	事務職員	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	ALT	計		男	女	計			
										男	女								男	女						
大町東小学校	1		1	9	1		4	1				2	1	1	1	3	1			1	8	9	10	16	26	
大町西小学校	1		1	15	1	1	5	1	1			2	1	1		4	1			1	8	9	11	24	35	
大町南小学校	1		1	21	1		2	1				2	1	1	1	4	1			2	8	10	13	24	37	
大町北小学校	1		1	16	1		5	1	1			3	1	1		5	1			2	9	11	11	26	37	
八坂小学校	1		1	5	1		1	1	1			1					1			1	1	2	5	8	13	
計	5	0	5	66	5	1	17	5	3			10	4	4	2	16	5	0		7	34	41	50	98	148	
第一中学校	1		1	19	1		1	1				2	1	1	1	4	1	1		3	8	11	19	16	35	
仁科台中学校	1		1	20	1		2	1				3	1	1	1	5	1	1		4	9	13	22	17	39	
八坂中学校	1		1	7	1			1									1	1		2	0	2	10	3	13	
計	3	0	3	46	3	0	3	3	0			5	2	2	2	9	3	3		9	17	26	51	36	87	
美麻小中学校	1	1		16	1	1	4	1	0					1	1	3	1	1		3	5	8	14	19	33	
合計	9	1	8	128	9	2	24	9	3			15	6	7	5	28	9	4		19	56	75	115	153	268	

※ () は臨時職員を内数で表す

※ 育児休業代替者を含む

※ 兼務職員は本務校に計上

※ ALTのうち2名は派遣

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
カマゼルト ショーン エベン KAMMERZELT SHAWN EVAN	アメリカ合衆国	平成29年4月1日～平成31年3月31日 (派遣)
アカハネ タミー レベッカ AKAHANE TAMMY REBECCA	オーストラリア	平成29年8月1日～平成31年3月31日 (市雇用嘱託職員)
グレンニー ケビン GLENNIE KEVIN	イギリス	平成30年4月1日～平成31年3月31日 (派遣)
リム フィ ミン LIM HUI MIN	シンガポール共和国	平成30年8月6日～平成31年8月5日 (JETプログラム)

6 通学区

(1) 小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町
八坂小学校	八坂の全区域
美麻小学校	美麻の全区域

(2) 中学校

学 校 名	通 学 区 域
第一中学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大黒町、相生町、九日町、六九町、白塩町、山田町、北山田町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、幸町、宮田町、若原町、和町
仁科台中学校	常盤および社の全区域ならびに大町のうち上仲町、下仲町、名店街、八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、高見町、南原町、堀六日町、東町、下白塩町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、大新田町、高根町、昭電アパート
八坂中学校	八坂の全区域
美麻中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校及び美麻中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

☆平成29年度実績

	八坂小・八坂中			美麻小・美麻中		
	男	女	合計	男	女	合計
小1			0			0
小2			0		2	2
小3		1	1	2		2
小4			0		1	1
小5			0			0
小6			0			0
中1（7年）	1		1			0
中2（8年）		1	1	1	2	3
中3（9年）			0	1	3	4
合計	1	2	3	4	8	12

8 山村留学生受け入れ状況

☆平成29年度実績

	八坂小・八坂中			美麻小・美麻中		
	男	女	合計	男	女	合計
小3	1	1	2			0
小4	1	1	2	1		1
小5	3		3	1	2	3
小6	2		2	1		1
中1（7年）	2	1	3	3		3
中2（8年）	2	2	4	1	3	4
中3（9年）	1		1	3		3
合計	12	5	17	10	5	15

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(平成29年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費・通学用品費	126人	1,540,298円	87人	1,930,067円
体育実技用具費	10	235,440	1	28,992
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	124	501,218	8	15,949
校外活動費(宿泊を伴うもの)	18	36,987	48	381,563
新入学児童生徒学用品費等	47	2,044,200	25	1,185,000
修学旅行費	20	711,052	26	1,505,175
医療費	12	59,650	2	20,030
学校給食費	126	6,187,551	83	4,500,095
計	126	11,316,396	87	9,566,871

※平成29年度から新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施している。

(2) 特別支援教育就学奨励費

(平成29年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費	59	328,799円	22人	226,920円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	7	7,009	9	22,992
新入学児童生徒学用品費等	6	61,410	8	83,908
修学旅行費	6	63,540	4	106,509
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	54	38,195	4	2,570
体育実技用具費	3	34,457	0	0
学校給食費	59	1,500,709	20	518,307
計	59	2,034,119	19	961,206

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(平成29年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	23	7,793,496
北小スクールバス	49	9,895,392
北小・第一中スクールバス	58	11,463,379
仁科台中スクールバス	16	7,674,480
八坂小中スクールバス	22	4,765,230
美麻小中スクールバス	85	18,538,092
計		60,130,069

遠距離通学扶助の状況

(平成29年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	211,400
中学校遠距離通学扶助費	3,373,300
計	3,584,700

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

(平成30年3月卒業)

年度	卒業者			進学者			就業者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 22	167人	145人	312人	166人	144人	310人	99.4%	0人	0人	0人	0.0%	1人	1人	2人	0.6%
23	162	170	332	160	169	329	99.1	0	0	0	0.0	2	1	3	0.9
24	169	149	318	168	149	317	99.7	1	0	1	0.3	0	0	0	0.0
25	155	123	278	154	123	277	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4
26	165	144	309	164	140	304	98.4	0	0	0	0.0	1	4	5	1.6
27	127	118	245	126	118	244	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4
28	122	140	262	122	140	262	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
29	118	133	251	115	133	248	98.8	2	0	2	0.8	1	0	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む
(平成30年3月卒業)

(2) 学校別状況

年度	卒業者			進学者			就業者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
第一中学校	41人	49人	90人	39人	49人	88人	97.8%	2人	0人	2人	2.2%	0人	0人	0人	0.0%
仁科台中学校	61	72	133	60	72	132	99.2	0	0	0	0.0	1	0	1	0.8
八坂中学校	5	7	12	5	7	12	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
美麻中学校	11	5	16	11	5	16	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
計	118	133	251	115	133	248	98.8	2	0	2	0.8	1	0	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学状況

(平成30年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		定時制		定時制				市内	郡内	県内	県外
		全日制	定時制	全日制	定時制						
第一中学校	88人	79人	0人	8人	0人	0人	1人	39人	14人	35人	0人
仁科台中学校	132	112	3	12	0	0	5	46	56	28	2
八坂中学校	12	7	0	4	0	0	1	4	2	5	1
美麻中学校	16	9	0	3	3	1	0	4	2	0	10
合計	248	207	3	27	3	1	7	93	74	68	13

(4) 就職状況

(平成30年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別				
		市内	郡内	県内	県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業	
									市内
第一中学校	2人	1人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	0人
仁科台中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八坂中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美麻中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	1	1	0	0	0	2	0	0

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の種類

ア 対象者

(ア) 一般奨学金（貸与型）

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 成績が優秀であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと

(イ) 特別奨学金（給付・償還免除型）

大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。なお、出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する場合は、償還を免除（給付）する。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 前年度の学業成績証明書において5段階評価で、平均4.0以上であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が特に困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に償還を要しない学資等の給付を受けていないこと
- ⑥ 出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する予定であること

イ 貸付金額

高校生	月額	15,000円以内
大学生	月額	30,000円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。ただし、特別奨学金については、要件を満たしている場合、返還を要しない。

(2) 貸付数

(人)

年度 対象区分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高校生	4	3	6	5	4	1	0	1	3	3
大学生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

年度 対象区分	23	24	25	26	27	28	29	30
高校生	2	0	0	0	0	0	0	0
大学生(貸与)	2	2	1	1	2	2	1	2
大学生(給付)							0	2
計	4	2	1	1	2	2	1	4

1 2 私学振興

(1) 私学に対する父母負担の軽減

(平成29年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1 人	9,000 円	1 人	9,000 円	学園に補助
私立高校在籍者	1 人	22,000 円	96 人	2,112,000 円	保護者に補助

1 3 教員住宅

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

住 宅 名	所 在 地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸 町 教 員 住 宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
館 の 内 教 員 住 宅	大町市社5610-2	47	43.6	6	8,000
俵 町 教 員 住 宅	大町市大町5722-5	60	80.7	2	21,000
		62	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜 田 町 教 員 住 宅	大町市大町3841-1	63	80.7	1	23,000
旭 町 教 員 ア パ ー ト (借 上)	大町市大町2952-2ほか	平成13年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大 平 教 員 住 宅	大町市八坂1008-イ3	53	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	56	66.0	1	4,000
明 野 教 員 住 宅	大町市八坂701-1	平成7年	50.0	4	20,000
長 平 教 員 住 宅	大町市美麻11291-1	50	67.0	1	4,200
		49	58.0	1	5,300
北 原 教 員 住 宅	大町市美麻11566ほか	50	58.0	2	4,200
	大町市美麻11568	54	45.4	2	3,200
前 田 教 員 住 宅	大町市美麻11727-1	55	45.4	2	3,200

14 コミュニティスクール

コミュニティスクールとは

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティスクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。学校運営協議会の主な役割として、

- ・「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」
- ・「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」
- ・「教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる」

の三つがあります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていこうとする意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

(1) 学校運営協議会を置く学校

ア 大町市立美麻小中学校

学校運営協議会指定日 平成26年4月1日

再指定日 平成29年4月1日

イ 大町市立八坂小学校・中学校

学校運営協議会指定日 平成27年4月1日

(2) 信州型コミュニティスクール

長野県教育委員会が独自に行っている「学校と地域の連携・協力を推進する事業」で、学校運営に保護者や地域住民が参画・評価を行う国の「コミュニティスクール」と、地域ぐるみで支える国の「学校支援地域本部事業」を組み合わせた機能を持つ仕組みです。

子どもの教育や学校運営について話し合う学校運営委員会を設置し、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てることを推進します。又、地域と共にある学校として、地域住民の皆さんに日常的に学校に来ていただき、子どもたちを見守り、支援していただきながら、学校と地域の協働を推進します。

★学校運営委員会を設置している学校

- ・大町市立大町東小学校
- ・大町市立大町西小学校
- ・大町市立大町南小学校
- ・大町市立大町北小学校
- ・大町市立第一中学校
- ・大町市立仁科台中学校

(3) 地域・保護者の方による学校支援

大町市では、すべての学校がコミュニティスクールとなり、すべての学校に学校運営協議会又は学校運営委員会が設置されています。学校運営協議会（委員会）では、学校運営へのさまざまな支援を行っています。

学校運営協議会（委員会）では、コミュニティ通信等を通じて、学校支援ボランティアを募集し、地域の方や保護者の方が学校運営に関わってくれる仕組みを構築しています。学校支援ボランティアの活動として、授業支援、学校環境整備（花壇定植や落ち葉拾い）、登下校見守り支援などがあり、各学校で活発に活動していただいています。

地域・保護者の方による学校支援の様子



習字指導



花壇定植



落ち葉拾い



登下校の見守り

1 5 教育支援委員会

教育支援委員会は、大町市教育委員会の諮問に応じて、次の事項について調査審議する機関です。

- (1) 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由による児童生徒の就学義務猶予又は免除等の判断に関する事。
- (2) 知的障がいその他心身に障がいのある者で、障がいの状況に応じたふさわしい教育を行うことが適当であると認められる者の判断に関する事。
- (3) その他、適切な教育支援に関し、教育委員会が必要と認める事項の事。

☆相談件数 (平成29年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	30	7	1	21	1	0	0
来 入 児	39	21	2	14	2	0	0
計	69	28	3	35	3	0	0

1 6 特別支援教育

(1) 市内小中学校における特別支援学級の児童生徒数の状況 (H29.9.1現在)

学校名	児童生徒数			学級数		
	総数	知障	自・情障	総数	知障	自・情障
大町東小学校	184	3	10	10	1	2
大町西小学校	259	3	17	15	1	3
大町南小学校	294	6	18	16	1	3
大町北小学校	340	4	11	15	1	2
八坂小学校	36		2	6		1
美麻小中学校(前期)	48	3	6	8	1	1
小学校計	1161	19	64	70	5	12
第一中学校	272	3	5	11	1	1
仁科台中学校	394	2	13	15	1	2
八坂中学校	33		3	4		1
美麻小中学校(後期)	37	1	4	5	1	1
中学校計	736	6	25	35	3	5

(2) 市内から特別支援学校へ通っている児童生徒数の状況 (H29.5.1現在)

学校名	小学部	中学部	高等部本校	高等部分室等	合計
安曇養護学校	11	8	6		25
松本盲学校			2	1	3
花田養護学校		1	1		2
合計	11	9	9	1	30

(3) 市内小中学校児童生徒の発達障がいに係る状況 (H29.9.1現在)

区 分	小学校	中学校	全体
発達障害診断を受けた児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	110名 (9.5%)	51名 (6.9%)	161名 (8.5%)
障害判定は受けていないが特別な支援が必要と思 われる児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	148名 (12.7%)	54名 (7.3%)	202名 (10.6%)
合計 (全児童生徒に対する割合)	258名 (22.2%)	105名 (14.3%)	363名 (19.1%)

(4) 障がい区分別児童生徒数の状況 (H29.9.1現在)

【小学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学習障がい(LD)	通常学級		1	2	1			4
	特支学級				1	1	1	3
	合計	0	1	2	2	1	1	7
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	2	1	4	2	2	2	13
	特支学級	1	1	2	4		1	9
	合計	3	2	6	6	2	3	22
自閉症スペクトラム障 がい(ASD)※広汎性発達障 害(PDD)、高機能自閉症 (HFPDD)アスペルガー症候 群、CD(行為障がい)を含む	通常学級		4	2	3	6	8	23
	特支学級	5	4	11	10	6	4	40
	合計	5	8	13	13	12	12	63
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、 複数の診断・判定	通常学級	1			2	2	1	6
	特支学級		3		2	4	3	12
	合計	1	3	0	4	6	4	18
障がい判定は受けていないが特別な 支援が必要と思われる児童数		23	27	25	25	27	21	148

【中学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	合計
学習障がい(LD)	通常学級	1	2	2	5
	特支学級	1			1
	合計	2	2	2	6
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	3	1	2	6
	特支学級		1		1
	合計	3	2	2	7
自閉症スペクトラム障 がい(ASD)※広汎性発達障 害(PDD)、高機能自閉症 (HFPDD)アスペルガー症候 群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	5	4	7	16
	特支学級	4	2	3	9
	合計	9	6	10	25
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、 複数の診断・判定	通常学級		1	6	7
	特支学級	2	1	3	6
	合計	2	2	9	13
障がい判定は受けていないが特別な 支援が必要と思われる生徒数		14	23	17	54

17 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小学校及び中学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援している。また、市独自に教育委員会内にキャリアサポーターを配置して、中学校や高校を卒業したものの進学や就労をせずに家に引きこもったり、ニート状態にある若者への支援（就職や進学への支援等）に直接あたっている。

(1) 活動の重点

ア 小学生の職場見学及び中学生と高校生との職場体験学習の充実

- 中学校職場体験学習期日の調整
- 受入事業所の開拓（小学校での職場見学を含）
- 学校での事前・事後指導の充実（講師派遣を含）

イ 保護者、地域、事業所等へのキャリア教育の啓発

- 広報紙、ケーブルテレビ、地域文化祭等で職場体験学習の発表機会を提供

ウ キャリアサポーターによる若者支援の充実

- 高校生徒指導担当者との情報交換の実施
- 市内教頭会で卒業生の動向や不登校等の児童生徒の状況等の情報交換
- 就労や進学支援のために、該当する各種機関と随時連携して取り組む
- 不登校の児童生徒やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 平成29年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回）
- 市内中学校・高等学校キャリア教育担当者会議（年2回）
- 各学校で行われるキャリア教育講演会（進路講話等）、職場体験学習マナー研修の講師紹介
- 平成29年度職場体験学習受け入れ事業所一覧表の作成と各学校への紹介
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（一学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、創造学園
 - ・大町岳陽高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学・高校生の職場体験学習への支援
 - ・第一中学校 2年生91名（7月25日～27日）
 - ・八坂中学校 1・2・3年33名（6月6日～7日）
 - ・仁科台中学校 2年生144名（9月7日～8日）
 - ・美麻小中学校 7・8年21名（7月13日～14日）
 - ・大町岳陽高校 1年生155名（10月17日）

○平成29年度大町市キャリア教育推進協議会開催

- ・職場体験学習での実践発表・・・第一中学校生徒7名、八坂中学校生徒3名
- ・市内中・高生による職場体験学習実施状況と課題
- ・キャリアサポーターによる若者支援の状況と課題
- ・平成30年度キャリア教育推進計画について

○キャリア教育研修会

- ・市内教職員を対象に実施
- ・実施日 平成30年2月6日（火）
- ・講師 森川 寛 教諭（第一中学校）
- ・発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実をテーマに学校種間の連携の在り方について

18 中間教室

中間教室（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもたちの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

(1) アルプスの家

- 設置場所 大町市大町4710番地
- 電話番号 0261-23-6418
- 開所時間 月曜日～金曜日 9時から15時30分
- 平成29年度利用者数（実人数）

	男	女	計
小学校	1人	0人	1人
中学校	3人	12人	15人
合計	4人	12人	16人

19 不登校・いじめの状況

(1) 不登校児童生徒の状況

【小学校】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成25年度		1	1	3	1		6
平成26年度	1		1	1	5	2	10
平成27年度		1		1	2	6	10
平成28年度	1		1	2	1	2	7
平成29年度	2			4	4	2	12

【中学校】

年度	中1	中2	中3	合計
平成25年度	4	7	6	17
平成26年度	3	4	7	14
平成27年度	8	4	7	19
平成28年度	14	11	4	29
平成29年度	12	20	12	44

(2) いじめの認知件数

【小学校】

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成28年度	男子	4	6	5	7	3	7	32
	女子		3	5	3	5	5	21
平成29年度	男子		4	8	7	5	5	29
	女子	4	6	9	5	8	7	39

【中学校】

年度		中1	中2	中3	合計
平成28年度	男子	4	3		7
	女子	8	2		10
平成29年度	男子	9	5		14
	女子	8	3	3	14

20 いじめ防止対策

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の天津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大町市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、教育委員会、学校、家庭、地域それぞれの取り組みについて明らかにした「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に向け積極的に取り組んでいる。

(1) 教育委員会におけるいじめ防止の取組

教育委員会では、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、設置する学校でいじめ防止等の対策が適切に実施されるよう、その支援に取り組む。

ア いじめ防止等に関わる組織の設置

いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携を図るため、校長会、PTA連合会、児童相談所、地方法務局、警察署、人権擁護委員会等の代表で構成する「大町市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ防止等に向けた取組を推進する。

イ いじめ相談ホットラインの設置

市教育委員会内にいじめ相談のための専用電話（教育相談専用電話）を設置して、いじめで悩んでいる子どもたちや保護者への相談にあたる。

ウ 関係機関との連携及び啓発活動の推進

- ・いじめ防止等に向けて学校、家庭、地域や関係機関等との連携を図る。
- ・教育相談やいじめへの対処に関し助言を行うために、学校からの求めに応じて、県教育委員会と連携し、心理や福祉等に関する専門的知識を有する者を派遣する。
- ・いじめ防止等に関わる研修会等を企画実施する。
- ・学校や社会教育団体等が実施するいじめ防止等のための活動を積極的に支援する。
- ・いじめ防止等の重要性及びいじめに関する相談窓口等について広報や啓発を行う。
- ・インターネット等を通じて行われるいじめについては、県教育委員会のネットパトロールによる監視の取組を活用し、適切に対処する。

エ 学校に対する支援

- ・学校からいじめの報告を受けた場合、市教育委員会は学校に対して必要な支援と指導助言を行う。
- ・学校におけるいじめ防止等の取組の点検と充実を支援する。

(2) 学校におけるいじめ防止の取組

学校では、県及び市の方針を受け、校長のリーダーシップのもとに全職員が一丸となっていじめ防止等に取り組む。

ア 基本方針の策定と環境づくり

- ・学校は、県及び市の基本方針に基づき、その学校の実情に応じた「学校いじめ防止基本方針（いじめ防止対策マニュアルを含む）」を策定し、児童生徒や保護者、地域等に周知し連携しながらいじめ防止等に取り組む。
- ・学校は、全ての児童生徒にとって安心・安全で、楽しく充実していると実感できる「心の居場所」となるよう、家庭や地域等と連携し、全校をあげていじめの防止等に取り組む。
- ・全ての教育活動を通じて、道徳教育や人権教育等の充実を図り「心の教育」と「いのちの教育」を推進する。
- ・学級や学年、児童会や生徒会の活動など、いじめを生まない学校とするための児童生徒自らによる主体的な取組を積極的に支援する。

イ いじめ防止及びいじめへの組織的な対処

- ・全ての教職員が法における「いじめの定義」を再確認し、積極的な認知に努める。
- ・学校は、いじめ防止等に関する措置を実効的に行うため「いじめ防止等対策委員会」を設置する。
- ・いじめを認知したときは、学級担任等特定の教員が抱え込むことなく、校長のリーダーシップのもと、職員間の緊密な情報交換や共通理解を図って全校体制で組織的に対応し、解決するまで継続的に取り組む。
- ・学校においていじめを把握した場合には、速やかに教育委員会に報告するとともに、保護者にも知らせ、必要に応じ主任児童委員、民生児童委員、子ども会育成会、自治会等関係機関と連携を図って対処する。

ウ 児童生徒理解と早期発見・早期対応

- ・日常的な行動観察に加え、定期的なアンケート調査等を実施し、全校的な指導体制でいじめの早期発見・早期対応に努める。
- ・全員の面接実施やスクールカウンセラー等の活用など、教育相談体制を充実する。
- ・いじめにつながるインターネット上での誹謗中傷や不適切な書き込み等を行わないよう、児童生徒への情報モラル教育を充実するとともに、保護者への情報提供と家庭での指導の徹底を求める。

(3) 家庭におけるいじめ防止の取組

家庭では、誰もが「いじめる側」にも「いじめられる側」にもなる可能性があることを理解し、寄り添い支えながらいじめの問題に取り組む。

ア 保護者の責務

- ・保護者は、子どもの教育の第一義的責任を有することを自覚し、子どもがいじめを行うことのないよう規範意識を養うとともに、その他必要な指導を行う。

イ いじめの理解と対処

- ・保護者は市や学校が講ずるいじめ防止等の対策に協力する。
- ・インターネットを通じたいじめの現状について知り、家庭におけるネットモラルの指導とルールづくりを行い、子どもがいじめの加害者や被害者にならないようにする。

- ・いじめが疑われたときは、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関等に相談し連携して対応する。

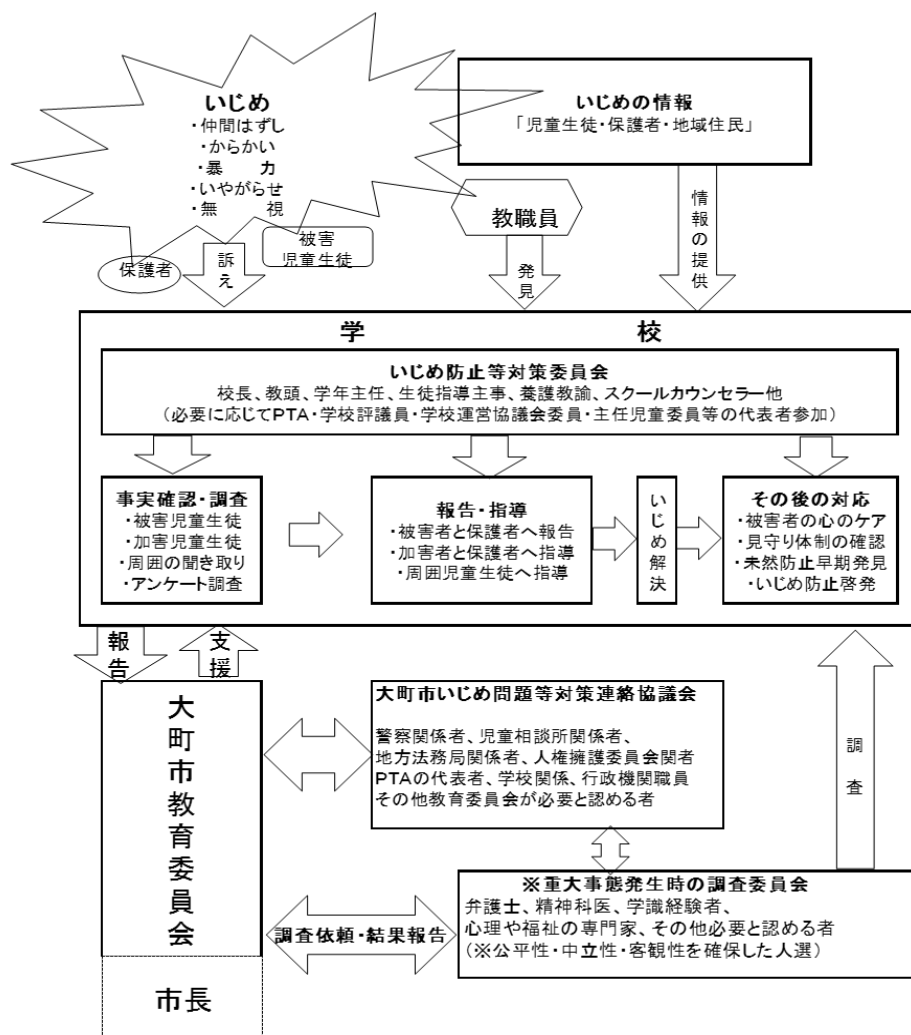
(4) 地域における取組

地域では大勢の大人が子どもたちと関わることによっていじめを生まない地域ぐるみのつながりづくりに取り組む。

- ・いじめは地域においても行われることがあるところから、登下校時等において、地域として子どもたちを温かく見守り、積極的な声かけを行う。
- ・地域の行事や文化活動、スポーツ活動等においても規範意識や思いやりの心、さらには社会性を育みながらいじめ等の防止に努める。
- ・学校や保護者、地域諸団体と連携し、いじめのない社会の実現に努める。
- ・いじめを発見したら、その場で「いじめは許されない行為であること」を指導し、保護者や学校に知らせ、連携して対処する。

いじめへの対応(フローチャート)

大町市教育委員会



2 1 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響をおよぼしてきている。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっている。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、共同して展開している。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいる。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン（サンプラン）をキャッチフレーズに取り組みを進めている。】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校、高等学校において、全児童・生徒に配布するとともに、携帯電話等の購入シーンに合わせて、販売店等において対象者へ配布している。

2 2 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS（地理情報システム）を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東 小 学 校	37	22	9	4	72
西 小 学 校	52	7	8	4	71
南 小 学 校	19	38	6	2	65
北 小 学 校	52	31	9	8	100
美麻小・中学校	4	2	6	1	13
第一中学校	13	7	9	2	31
仁科台中学校	10	1	1	0	12
八坂小・中学校	8	17	4	12	41
計	202	122	49	32	405

(3) 緊急合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

○対策状況（平成30年9月1日現在）

学校名	危険箇所総数	対策済み箇所数	一部対策済及び対策予定箇所数	対策未定箇所
東小学校	16	7	7	2
西小学校	21	9	10	2
南小学校	16	6	7	3
北小学校	23	11	12	0
八坂小学校	5	2	2	1
美麻小学校	5	0	3	2
総数	86	35	41	10

※対策予定箇所には、複数年にわたって計画的に整備するものも含む。

（４）大町市通学路交通安全プログラムの策定（H27.3策定）

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町警察署、長野工業高等専門学校、大町市PTA連合会、大北PTA連合会、大町市校長会及び庁内関係部署（学校教育課、市民課、建設課）から選出された11名で構成。
- 今後の取組み
小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実を図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



2 3 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面の間、市立学校では「自校直営方式」（平成18年市村合併による八坂共同調理場を除く。）とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、県のマニュアルに準拠し、アレルギー食（代替食・除去食）での対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。
- 安心で安全な学校給食を提供することを第一に、福島原子力発電所事故に伴い汚染等が心配させる地域からの食材について放射能物質検査を実施し、安全性を確認した食材を提供する。

(3) 学校給食の実施状況

平成30年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (教職員分を除く)	一食当たり 給食費	市から学校給食への 補助金(年間)
大町東小学校	189食	275円	1,490円/人
大町西小学校	260食	275円	1,490円/人
大町南小学校	280食	275円	1,490円/人
大町北小学校	326食	275円	1,490円/人
八坂小学校 (共同調理場)	36食	275円	1,490円/人
美麻小中学校	前期 56食	前期 275円	1,490円/人
	後期 33食	後期 315円	1,860円/人
第一中学校	257食	305円	1,860円/人
仁科台中学校	366食	305円	1,860円/人
八坂中学校 (共同調理場)	27食	315円	1,860円/人

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

生涯学習基本方針

生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習とされています。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしているといえます。

学習を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、学習の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な学びを通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、自主的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、平成26年度から平成33年度を計画期間とする生涯学習推進プランの3つの基本方針を掲げ、全市的に取り組んでいます。

- 生涯学習の基盤づくり
- 地域全体で取り組む子育て支援
- 協働を基本とした地域コミュニティの再生

社会教育基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

一般的には学校教育を除いた包括的な教育概念として理解されており、人々の生活の向上や職業能力の獲得と開発、個人の学習要求の実現や能力開発、さらに地域社会の形成や発展に貢献することなどを目的として実施される教育活動を言います。

社会教育は、学校教育にとらわれない幅広い内容を持っており、学習活動の内容は様々で、学校教育を補充・補完し、発展・拡張する内容を持っていることから、家庭教育を含めて生涯学習社会実現の中核を担うものです。

近年の社会環境は、高度情報化・少子高齢化による社会構造の変化や家庭生活の変化、価値観の多様化、貧困や格差の顕在化、そして震災や豪雨などの自然災害、原発問題など急激な変化を遂げています。このような時代背景の中で、市民の学習要求の多様化・高度化や、様々な地域課題の解決に対応するために、社会教育の果たすべき役割は極めて大きいといえます。新しい時代の生活に即した知識や技術、教養を高め、心の豊かさや生きる力を育むためにも、学校や地域、民間の諸活動、市長部局などとの幅広い連携の下、学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動のための、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められています。

希薄化傾向にある地域社会のつながりを取り戻し、個人の学びが地域に循環・還元することにより、活力あるまちづくりの推進を目指すため、社会教育計画を基本として、次の3つの柱を重点に社会教育の推進を図ります。

- 生涯各期における学習活動の充実
- 多様な分野の学習活動の充実と促進
- 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築

1 生涯学習・社会教育

高度情報化や少子高齢化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化、そして自然災害等で急激な変化を遂げている社会環境において、生涯学習社会の実現とともに、地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっています。

学習ニーズを的確に把握し、自主的かつ快適な活動推進の積極的支援とともに、人と人との学び合いを通じた地域課題解消に向けての取り組みに努めます。また、青少年の健全育成を目指して、学校・家庭・地域・行政などの多様な活動体の相互の協働と連携による社会教育の推進を図ります。

(1) 重点目標

ア 地方創生総合戦略に関する事業

- (ア) 地域の人材を活用した多様な学習支援
- (イ) 郷土学習の推進

イ 生涯各期における学習活動の充実

- (ア) 青少年の非行防止・健全育成

ウ 多様な分野の学習活動充実と促進

- (ア) 芸術文化の振興
- (イ) 自然や環境に関する学習の促進
- (ウ) 科学の振興

エ 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築

- (ア) コミュニティスクールなど地域とともにある学校づくりの推進
- (イ) 生涯学習ボランティア活動などの促進
- (ウ) 情報提供・相談事業の充実
- (エ) 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実
- (オ) 学習成果の評価と活用
- (カ) 市民の自主的・主体的活動支援の推進

(2) 主な事業

ア 青少年の非行防止・健全育成

下記「2 青少年」に記載

イ 芸術文化の振興

- (ア) 雪形まつりの開催
- (イ) 企画展の実施
- (ウ) 美術館めぐりの開催
- (エ) 美術振興専門委員会の開催
- (オ) 美術作品等収蔵品目録の整備
- (カ) ギャラリー・いーずらの一般利用貸出しの促進

ウ 科学の振興

- (ア) 大町市科学振興会による科学の振興と普及啓発
- (イ) エネルギー博物館の運営支援

エ 学社融合・学校開放事業の促進

- (ア) 学校開放講座の実施

オ 生涯学習ボランティア活動などの促進

- (ア) リーダーバンク制度の充実
- (イ) 職員出張講座の充実
- (ウ) サークル等団体の活動の奨励及び援助

カ 情報提供・相談事業の充実

- (ア) 「がったつうしん」の発行

キ 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実

- (ア) 大町公民館分室の管理・運営
- (イ) 蔵の音楽館の管理・運営
- (ウ) 社会教育委員会議の開催
- (エ) 生涯学習のまちづくり推進本部の開催
- (オ) コミュニティ振興対策事業補助金の交付

(3) 主要な施策の実施状況【平成 29 年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
成人式の開催	8月15日開催、参加者259人
北アルプス雪形まつり開催	6月10日開催、参加者300人
ギャラリー・いーずらの企画展運営	開館日数140日、入館者数3,151人
大町公民館分室の運営・管理	開館日数293日、利用者数19,738人
蔵の音楽館の運営・管理	開館日数293日、利用者数596人
エネルギー博物館運営補助	入館者数10,505人

事業名及び内容	事業効果、成果
公民館分館整備助成	1 件
子どもセンター事業「がったつうしん」発行	4 回
郷土学習資料	1,000 冊製本

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図ります。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「健全な明るい家庭づくり」「たくましい青少年づくり」「心のふれあう地域づくり」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進します。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターによる相談業務、補導活動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの育成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろい心のある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進めます。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) ジュニア・シニアリーダー研修会の開催
- (ウ) 青少年リーダーの育成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 高等学校への学校訪問の実施
- (ク) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の実施
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

(3) 主要な施策の実施状況【平成 29 年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
補導委員街頭補導活動	活動回数 56 回、延べ参加人数 235 人
青少年育成市民大会の開催	8 月 19 日開催、参加人数 187 人
ジュニア・シニアリーダー研修事業	7 回
子ども体験学習号運行業務	運行回数 12 回、利用者数 248 人

3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫であり、この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務です。このため、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図ります。

(1) 重点目標

ア 文化財の保存

- ・文化財の保存修理及び保存環境整備の推進
- ・文化財保護事業の促進文化財保護事業の促進

イ 文化財保護意識の高揚・活用

- ・文化財の見学会や講演会の実施
- ・文化財・自然等の学習活動支援題材提供
- ・文化財センター・民俗資料館・旧中村家住宅を活用した文化財保護意識の啓発。

ウ 文化財の調査

- ・遺跡緊急発掘調査（遺跡の記録保存）、学術発掘調査の実施
- ・市内の文化財・古文書調査の充実
- ・関係機関と連携しての文化財調査の推進

(2) 実施事業（平成29年度）

ア 文化財の保存、環境整備

① 指定文化財保護補助事業 3件

- ・仏崎観音寺アカマツ生育環境維持事業
- ・仁科神明宮文化財環境整備事業
- ・上仲町流鏝馬大傘修理事業

② 指定文化財保護・保全事業 5か所

- ・居谷里湿原
- ・大塩のイヌザクラ
- ・上原遺跡
- ・天正寺居館跡
- ・千見山城跡

イ 文化財保護意識の高揚・活用

① 文化財講座 8月～12月 5回開催 参加者76人

② 観察・見学会

- ・居谷里湿原観察会 5月3日～5日 参加者128人

- ・仁科文化の美術巡り 6月17日 参加者3名

- ・湯俣噴湯丘見学会 10月1日 参加者30名

③ 文化財防火デー 消防訓練 旧中村家住宅 1月28日実施 50名参加

④ 文化財保護強調週間（11/1～11/7）における仁科神明宮御遷宮写真展など。延100人

⑤ 国重要文化財旧中村家住宅の公開。4月～11月。

⑥ 指定文化財の説明板改修 乳川石堤、館ノ内居館跡

ウ 文化財の調査

- ① 堀の内遺跡緊急発掘調査 個人住宅建設に伴う記録保存 調査面積64㎡
- ② 中城原遺跡緊急発掘調査 宅地造成に伴う記録保存 調査面積119㎡
- ③ 開発事業に伴う遺跡試掘調査、工事立会い 北原居館跡ほか6件
- ④ 未指定文化財建造物調査 大町市八坂「旧北澤家住宅」ほか3か所
- ⑤ 古文書調査



長野県天然記念物 居谷里湿原観察会



堀の内遺跡発掘調査

(3) 指定文化財
ア 国指定文化財

(平成30年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮本殿・ 中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、 檜皮葺。中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。 古式を遺す。釣屋附属指定。
木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷 営の際の棟札。永和2年（1376）から 安政3年（1856）までの27枚が指定。
御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等 を取り付けた懸仏。11面が附属指定。 裏面に年代銘のあるものもあり。
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2, 937 （曾根原）	桁行3間、梁間3間、寄棟造、松本平で は最古の寺院建築。室町中期の建造物 と考えられる。
鉄鱧口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟地区 社4, 866-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鱧口としては わが国最古のもの。面径24cm。 表面に安貞2年（1228）の陽刻銘あり。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2, 097 （俵町）	一見豪壮華麗な桃山風を思わせる一間 社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が付属指定。 地方としては大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘 と球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林省） 平湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して、火山状 の噴湯丘になり、中央の湧き口に白い 小豆粒大の球状方解石ができる現象。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺 八坂1, 625 （藤尾）	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代 が、平安時代末期である。木像の胎内 には、願主・仏師などの名前や治承3 年（1179）3月と年代など造像事情を 記した墨書木札、白銅製菊花双雀文鏡、 紙本千手観音摺仏が納入され、白銅鏡 は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	各1軀	覚音寺 八坂1, 625 （藤尾）	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、 檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、 多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・ 建久5年（1194）、多聞天・建久6年 （1195）年と年号の陰刻銘が刻まれて おり、これが造像年代と考えられる。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H9. 12. 3	重文	2棟	大町市 美麻17, 668 （青具）	主屋は、桁行14間、梁行6間、建坪84 坪（約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟 造で、元禄11年（1698）建立と建築年 代が明らかな民家として県内最古。 土蔵は、桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明す るものとしては県下で古い例に属す。

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物

イ 国登録有形文化財

(平成30年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
平林家住宅 主屋 H29. 10. 27	登有	1棟	平林秀一 大町2, 572-1 (八日町)	間口7間の土蔵造2階建て、式台玄関や座敷棟を構えた上層町家の典型を示す。明治22年(1889)の大火後の再建で、立石清重の設計により、防火や耐火の対策が講じられた大町最初の土蔵造町家として貴重な存在。
平林家住宅 文庫蔵・塩蔵・ 漬物蔵 H29. 10. 27	登有	1棟	平林秀一 大町2, 572-1 (八日町)	梁間3間、桁行5間の文庫蔵に、桁行4間の漬物蔵と塩蔵を増築し、置屋根形式で切妻造の屋根を架け、東正面には下屋庇をつけている。文庫蔵は中心に9寸角の棟持柱を立て内壁を縦板張りとした堅牢な蔵で、漬物蔵、塩蔵とともに平林家の繁栄を伝えている。

注：登有＝登録有形文化財



県天然記念物 大塩のイヌ桜敷き藁作業

ウ 県指定文化財

(平成30年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1706)に造営。松本平では唯一の塔。棟札4枚が、附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1軀	弾誓寺観世音保存会 大町4, 188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。檜材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4, 729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型と伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	9月15日例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡	地域指定	大町市ほか 平1, 955-355ほか (上原)	昭和25年から数次にわたる発掘調査により、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記	地域指定	傘木篤ほか12人 大町8, 279-10ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30	天記	地域指定	若一王子神社 大町2, 097-1ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記	地域指定	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ・ヒノキが主で、他にアカマツ・クリ・コナラ・ツガ・モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大町市大黒町 大町2, 199 (大黒町)	諏訪の宮大工立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮作始め 神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6, 655-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式。各所に建築彫刻が施される。名工藤森広八の代表作であり幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシンジ ユガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所 地域 指定	国土交通省 農具川水系 平20, 677-2先から 15, 637-1先まで 居谷里沢水系 大町8, 267-11先から 8, 194先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水生二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄造。像高19cm。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (関田)	四耳壺1、瓶子2、土師器1、青白磁水注1、 墨書写経石1。 古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。 水注は中国の景德鎮での製造と見られる。
流鏑馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏑馬保存会 大町2, 097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつ け、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に 矢を番えて射る。
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12	天記	1本	藤川毅徳ほか8名 美麻3, 342番地 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた 杖をさしたのが根付いて大きくなった という伝承から「静の桜」と呼ばれる。 目通り幹囲は8.45m、桜は四方に良く伸 びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年（1706）に 建立された寄棟造、茅葺・三間四面の和 様建築。宮殿（厨子）は豪華な和唐折衷様式。 棟札附属指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財



文化財講座

エ 市指定文化財

(平成30年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
広形銅戈 (海の口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1点	海の口上諏訪社 平14, 505 (海の口) 所有・保管は大町市 文化財センター	全長24.5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝播のありさまを物語る貴重な資料。出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	加蔵栄ほか (団体を含む) 平22, 419-3ほか (青木)	群生地としては本州の南限。淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アルプス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資 (有形)	1式	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	江戸時代から使われていた和紙製造用具。この地方の紙漉業の全容を知る上で貴重な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	墨書経石1、灰釉小皿1。県宝指定「山寺廃寺跡出土品」に付随すると考えられる出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	仏丈65cm。総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	檜材寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月廿四日、願主、喜香叟」の墨書銘あり。文安4年(1447)の製作。
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡	地域 指定	天正寺ほか 大町4, 729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移したと考えられる鎌倉末期から、室町末期に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の2重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	天記	種指定	中綱湖ほか	県下では当市のみで生息するといわれる淡水海綿。中綱湖が主な生息地。「種」の指定。
大町市のカワシンジ ュガイ S62. 3. 2	天記	種指定	中部農具川ほか	県下では当市と戸隠に生息する淡水生二枚貝。約3万年前から存在している「生きた化石」。中部農具川、居谷里沢のみに生息。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀如 来立像 S62. 3. 23	有文	1躯	大沢寺 大町4, 156 (堀六日町)	像高49cm。総高78cm。檜材寄木造、頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊坐 像 S63. 1. 14	有文	1躯	大姥堂世話人会 平1, 298 (野口)	像高39.5cm。檜材、寄木造。室町中期の作。立山信仰の本尊。裏山道の入口にあたるこの地に、本像を請来したか。
霊松寺のオハツキイ チョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6, 665-イ (山田町)	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖返り的な珍奇な現象をもっている。全体の約1割にこの現象が見られる。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4, 730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年(1688)の建立。 棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1軀	長性院 大町3, 682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。 檜材寄木造。江戸中期。木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記	地点 指定	下一高瀬川河川敷 共有地組合 常盤6, 720-3 (上一近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。 この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方を知り、また、糸魚川静岡線の通過位置に知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪観 音坐像 H3. 5. 31	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1軀	木舟地区 社4, 886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳博物館 大町8, 056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきた。しかし国内の野生種は絶滅してしており、現在国内で飼育されているトキは、中国に生息していたものを人工繁殖させている。このような事情から国内での生息を知ることのできる標本は大変貴重なものとなっている。
長野県大町高等学校 のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町高等学校 大町3, 691-2 (南原町)	市立山岳博物館のトキは大正8年(1919)に、長野県の大町高等学校のトキは大正6年(1917)に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4, 733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m。樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としてはまれにみる大木。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19	天記	1本	仏崎観音寺 常盤5, 445-2 (泉)	目通り周囲4.2m。樹高20m。2本の独立幹が肥大成長にともなって融合した「和合木」。大町地方としては稀に見る大木。
たんせい 弾誓寺観音堂木造伝 弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高75cm。檜材寄木造。17世紀中頃の作。 彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造伝 長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高78cm。檜材寄木造。 元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誓岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・崩沢共有 平13, 109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称『カサマツ』と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオガ エル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	西沢可雄 平23, 109-1 (築場・中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4, 203 (須沼)	東幹の樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。 西幹の樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。 薬師堂の門木の位置にある。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	像高24. 1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造 薬師如来立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4, 729 (十日町)	像高261cm。檜材寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	横沢毅昌 常盤8, 063-5 (西山)	目通り周囲2. 95m、樹高12. 5m、稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	目通り周囲3. 05m、樹高8. 5m。推定樹齢150年で市内最大のものと思われる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の石像 大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので彫刻技術も秀れている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品 等	大町市教育委員会 平8, 040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	推定像高180cm。檜材寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、体部に損焼をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資 (有形)	1面	仏崎観音寺 常盤6, 966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰のあり方などがうかがえる貴重な資料である。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	飯島昌他7名 大町8, 254 (三日町)	目通り周囲5. 1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にもまれな大経木である。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	倉科善吉 常盤8, 099-1 (西山)	根回り周囲5. 33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮の銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	鏡の直径は、約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮の木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7, 174-1 (高根)	単幹。目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社 木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6, 097 (北野)	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコミ ズシタダミ H13. 6. 27	天記	種指定	木崎湖、中綱湖	日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一間社（124cm四方）、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括 附、その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	飯嶋善士 平92（野口） 保管は大町市文化財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1躯	八日町自治会 大町1, 134-9 (八日町)	像高114cm。総高168cm。檜材寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		西沢茂人ほか3名 平18, 235~18, 240 (海ノ口)	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍の標高1, 100mの山腹にある。
西沢正雄氏所有 文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 259点	西沢正雄 平55-1（野口） 保管は大町市文化財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年（1819）から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
栗林士郎氏所有 文書一括 H17. 3. 25	有文	1式 2,581点	栗林士郎 大町4,084 (下仲町) 保管は大町市文化 財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く貴重なものである。
しょうぶ 生婦平出土銅造端花 そうちゅうはちりょうきょう 双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1点	大町市 八坂1,108-1 八坂支所(大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。 直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の木造 地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 八坂1,298 (大平)	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。 全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	小松尾諏訪神社 八坂5,693 (小松尾)	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。 一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隅流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H18. 3. 27	民資 (無形)		飯綱神社 八坂25,794 (梨平)	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 八坂14,695 (野平)	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文	1基	八坂医王会・大日講中 八坂9,641-1 (矢田川)	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化14(1807)年。④徳本上人合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。
北条蜂の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	寺島昭一ほか3名 八坂13,609-ロ-1 (北条)	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。製作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
曾山の善光寺千人 参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 八坂9, 179-4 (曾山)	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。 材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願 揮。石工は大平村石原、若林嘉久治勝 重と高遠清水八五良安信による平成6年 道路工事で現在地に移転されたが、も とは美麻地積に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2, 708 (大塩)	一間社・流造。規模は間口1間2尺、 奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の 文化12年(1815)9月12日に再建された もので、立川豊八(安曇郡長長尾組岩 原住)による建築。附属指定として、 棟札3枚がある。
富士浅間神社神楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2, 708 (大塩)	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間 四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6 mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞 伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1式 16面	富士浅間神社 美麻2, 708 (大塩)	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安 政年間のものが多い。大型のものも多く、 製作年間は安永6年(1777)年から昭和 14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 美麻25, 878 (千見)	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年 (1841)9月の造営建築である。一間社・ 神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、 曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617) の棟札と藩奉行6名の連署が見られる幕 末の万延元年(1860)の禁制札の2点が 附属指定。
千見神明宮絵額と 句額 H18. 3. 27	有文	1式 14面	千見神明宮 美麻25, 878 (千見)	千見神明宮に奉納される絵額(絵馬) のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額 の制作年代は、天明7年(1787)～安政2 年(1855)。また句額の制作年代は、文 化5年(1808)～明治33年(1900)のも の。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 美麻9, 152 (二重)	一間社・流造り。彫刻が優れる。現在の 社殿は、文政8年(1825)建立で、大工 棟梁は越後市振の片桐利七とその一門に よるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関守門 H18. 3. 27	有文	1棟	下條秀則 美麻26, 036 (千見)	旧千見村に建てられた、関守の地位と格 式を象徴する門である。建築年代不明。 松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守 を置き下條家はその任をまかされ、警備 にあたった。門正面は三間、奥行二間の 門に、切妻屋根。

注：有文＝有形文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
下條秀則氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 169点	下條秀則 美麻26, 036 (千見)	江戸時代初期元和年間(1615)から明治時代初期の武家・松本藩の記録、関守関係文書を中心とする藩政の一端を担った在地の記録として貴重な文書。
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資 (無形)		水上神社 美麻9, 152 (二重)	現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裱に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。
中村武本氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 616点	中村一仁 美麻17, 668 (青具)	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26④追加指定	有文	4点	山本はる子 ほか2名 保管は旧中村家住宅土蔵 美麻17, 668番地 (青具)	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	戴神社 美麻権現山南東 (新行)	権現山の山麓に堂屋敷と言い伝えられてきた碑文が残る屋敷跡。附属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	千見神明宮ほか 6名 美麻城山25, 450-ロ-3 ほか (千見)	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)火攻めにされ落城したと伝えられる。一の郭東西50m×南北20m、二の郭東西40m×南北30m、三の郭東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	倉品愛子ほか5名 美麻855ほか (大塩)	一の郭(12×27m)、二の郭、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	伊東久雄ほか5名 美麻938ほか (大塩)	遺跡内では平成5年と平成13年における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土灰 釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	田中一志 保管は 旧中村家住宅土蔵 美麻17, 668番地 (青具)	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川重忠氏所有木造 阿弥陀如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 常盤4, 308-3 (須沼)	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 常盤4, 308-3 (須沼)	薬師如来像は木食山居作と推定され、 総高45cm、像高36.5cm。 同じ堂にあった木食山居作と推定され る、江戸時代中期の木造聖観音立像が 附属指定。
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記	1本	宮田武男 美麻21, 770 (青具)	坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと 伝えられ、伝承では、樹齢約1000年とい われている。目通り4.73m、根回り4.7m、 高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記	1本	水上神社 美麻9, 152 (二重)	水上神社ご神木。目通り6.3m、根回り 7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750 年余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記	1本	種山賢児ほか3名 美麻34, 161-口 若栗峠 (高地)	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県 では第2位にあたる。樹齢約500年と伝 承されている。成長に伴う融合性の幹 枝。
たかはしひろお 高橋鴻生氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 379点	高橋鴻生 社6, 567 (松崎) 保管は大町市文化 財センター	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、 閨田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村 方文書を主とする文書がある。 文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見 聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』 は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町西小学校 大町4, 733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の 大町の人々の動きを記録し、単なる制度 の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸 惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆 の気持ちも察せられる重要な文献史料で ある。
はちまる 八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 2, 425点	栗林守男 保管は大町市文化 財センター	江戸時代中期以降大町組の大庄屋を勤め、 明治時代においても大町の要職にあった 八〇栗林家に残された古文書類で、江戸・ 明治時代の大町のようなことを知るこ とのできる文書。
やません 山千永田家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 585点	永田 誠 常盤3469-92 (上一) 保管は大町市文化 財センター	美麻千見において江戸時代大町組千見村 の庄屋、一時期に大町組の大庄屋、明治 時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村 の合併など新しい時代の村づくりに尽く した永田家に残された古文書類。江戸・ 明治時代の山間地域のようすを知ること のできる文書として貴重。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、平成15年3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定しました。

また、平成20年には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めています。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行いました。

市民一人一人が人権教育を通じて、人権問題を自分自身の課題として捉え、同和問題をはじめ、外国人、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット等に係る様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し、明るく差別のない、市民参加と協働のまちづくりを進めています。

- ・あらゆる機会を通じた人権教育の推進
- ・市民の主体的な参加の促進
- ・人権の理解から人権尊重へと意識の高揚を図り、自らの尊厳を認識する場の提供
- ・異なる文化や考え方等、多様性を互いに尊重し合う共生の心の醸成

地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にする人権教育の推進を図るため、学校、家庭・地域、企業、県の機関・組織、市の関係課等と連携・協力しながら人権教育の総合的な取り組みを進めます。

(1) 重点課題

- 1 人権教育推進体制の充実と連携の強化
家庭、地域、企業等、推進組織の充実と幼稚園・保育園を含む学校教育、PTAとの連携
- 2 人権教育指導者層の充実と資質の向上
人権関係団体、人権教育推進協議会の委員、企業人権教育推進協議会の会員、社会教育関係者等の研修機会の提供
- 3 教育・啓発活動の推進
人権尊重に向けた取組の広報、啓発資料の配布と映像教材の貸し出しなど
- 4 学校、地域、企業、行政の人権学習活動の充実
各機関におけるあらゆる機会を捉えた人権教育の推進・啓発の促進

(2) 平成29年度人権教育推進事業

ア 就学前教育関係

- (ア) 市立保育園・私立幼稚園・認定こども園に人権教育の推進を呼びかける。
- (イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を

提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教職員が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 市内小中学校より2校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を広げる。
- ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会・授業公開と研究懇談会の開催や実践のまとめを行う。
- ④ 助成希望を通して、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成17年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展や有線放送を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・老人クラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ PTA連合会・各学校PTA
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 研修会、人権教育講演会(歴史講演会)を実施し、人権・同和問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ
- ② 市役所職員の研修会への参加
- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進

(エ) 社会人権教育設備及び教材の整備

- ① DVD等の視聴覚教材等の充実整備
- ② 人権関係資料・教材の整備

エ 社会人権教育活動の推進

(ア) 人権を考える市民の集い

- ① 市内6地区の学校で開催

(イ) 市内全地域・全市民対象の人権教育

- ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
- ② 広報活動の拡充 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
- ③ 公民館の開設する学級等に人権教育学習を組み込む場合の協力

(ウ) 企業人権教育の推進

- ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
- ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
- ③ 企業人権教育推進協議会研修の実施
- ④ 企業独自の人権教育の推進への協力

(エ) 同和問題に対する教育の推進

- ① 大町市人権・同和教育推進懇談会事業計画の策定と学習の促進
- ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力

(オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力

- ① 各種人権啓発事業、研修参加での連携
- ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

(ア) 人権教育の学社連携の拡充

- ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への地域・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
- ② 社会人権教育推進としての「集い」へのPTA参加の呼びかけ

(イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の推進

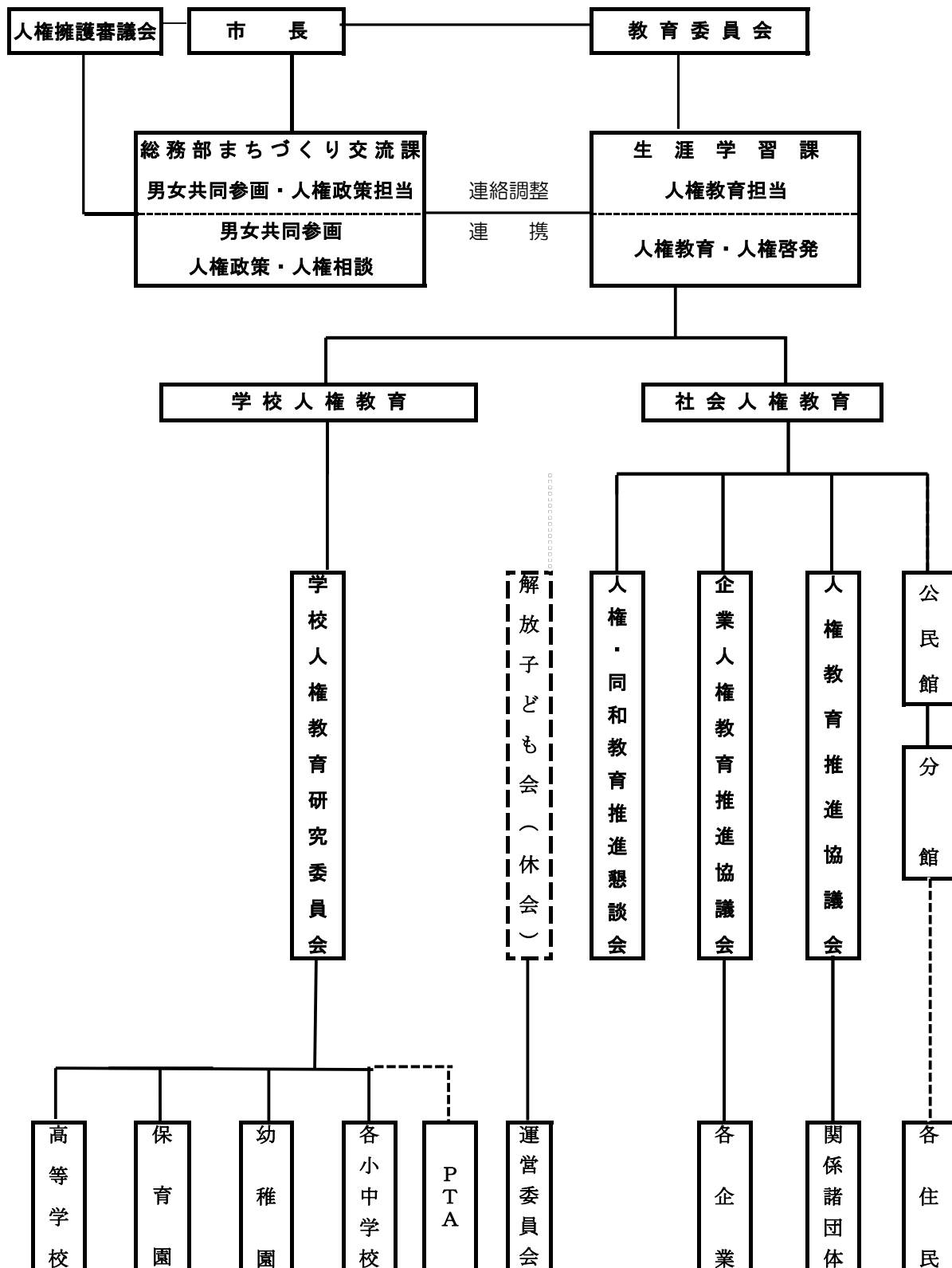
- ① 「集い」の案内、チラシ、パンフレット、資料、広報紙による啓発活動
- ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
- ③ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
- ④ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の協力・資料の配付

(3) 平成29年度実施事業

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
人権教育・啓発事業	人権を考える市民の集い	市民一人一人が人権問題を自分自身の問題として捉え、互いの人権を尊重する意識や態度を身につけ、人権尊重を当たり前のこととして行動できるよう地区ごとに、学校を会場として、児童生徒と地域住民が一堂に会し、児童生徒の意見発表と講演を通じて人権学習を進める集いを開催した。	6月9日 平地区 大町北小学校	「目の見えない人と盲導犬」 長野県ハーネスの会 会長 前野 弘美 「なかよしの取り組み」 大町北小学校6年生 佐藤 みなき	321 (一般) 51
			7月13日 大町地区 仁科台中学校	「遠い空の下の故郷」 ～ハンセン療養所に生きて～ 木下 美智子 「大切にしたい『仁中のいじめ追放宣言』」 仁科台中学校3年生 平林 遥	481 (一般) 49
			8月25日 八坂地区 八坂小学校	「日本に住んでみての発見」 元ALT USA国籍日本在住 清水 ジュニー 「思いやる気持ち」 八坂小学校6年生 北澤 青空 「同性愛をどう考えるべきか」 八坂中学校3年生 竹村 彩菜	187 (一般) 84
			9月13日 美麻地区 美麻小中学校	「夢に向かって」 バイオリニスト 牧 美花 「みんなが幸せな社会に」 美麻小中学校6年生 倉科 誠夏 「視点を変えて見てみよう」 美麻小中学校8年生 米窪 愛花	134 (一般) 43
			10月20日 常盤地区 大町南小学校	「視覚障がい乗り越えて」 ピアニスト 大月 裕夫 「学校の平和が笑顔を生む」 大町南小学校6年生 荒井 瑠奈	360 (一般) 39
			11月10日 社地区 大町東小学校	「ネット ここが心配」 ～SNSの危険性と留意点～ 南澤 信之 「人種差別のない世界に」 大町東小学校6年生 小倉 花音	294 (一般) 138
			授業公開・研究懇談会	授業参観及び懇談会を通して、人権教育における学校と地域との連携を深め、一層の進展に資する。	11月15日 大町南小学校
美麻小中学校	授業学級 8年、9年 助言者 中信教育事務所指導主事 下條 拓也	40 (一般) 8			
ポスター、作文募集 作品集発行	児童生徒に人権学習の一環として人権に関する作文・ポスター制作を依頼し、選定した作品で作品集を印刷して配布する。	11月募集 2月発刊	「ヒューマンライツ」第40号	94	
ポスター展示	作品集に収録した作品を一般市民に公開する。	1月17日～26日 市民ホール		44	
有線放送	収録作品から選定した作品を有線放送農業協同組合が放送する	3月初旬	旧大町市内小中学校	6	
		朝、昼、夜	大町岳陽高校	1	

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
	幼稚園,保育園,小学校,中学校,高等学校が実施する講演会等への助成	学校等で計画する人権に関する講演会等に対して講師謝礼などを補助する。	7月14日 大町西小学校	「心臓病と生きる」 ～慢性疾患の子どもへのかかわり方 猪又 竜	430 (一般) 150
	人権・同和教育推進懇談会事業の開催	人権・同和教育推進懇談会の開催と、交流研修会及び講演会の開催	7月15日 平公民館	「後藤新平と信濃木崎夏期大学 ～「学俗接近」の思想と実践～」 新潟経営大学経営情報学部教授 中島 純	46
			12月4日 常盤公民館	DVD「東山文化を支えた『差別された人々』」視聴 部落解放同盟市協議会長の講話	36
	啓発DVD貸し出し	資料貸し出しによる人権啓発	随時		4
研修会の開催	人権教育推進協議会研修会	人権教育推進協議会主催	5月15日 市役所	「手話で自己紹介しよう」 手話通訳者 田邊あつ子 田邊一弘 清水礼子	25
	企業人権教育推進協議会研修会	企業人権教育推進協議会主催	6月7日 市役所	「共に働いて」 (株)しんえこ SYN ECO 代表取締役社長 春山 孝造	48
	学校人権教育研究委員会研修会	学校人権教育研究委員会主催	5月25日 市役所	「人と人とのつながりを大切にしたい、共に生き支え合う社会の構築のために」 中信教育事務所指導主事 下條 拓也	22
	人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会、人権擁護審議会の合同視察研修		10月27日 信濃町	称名寺、一茶記念館及び周辺史跡	20
	対外的な研修会への一般案内及び参加		約10回	中信教育事務所・大北企業人権等 主催	66

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあつて市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進します。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきましたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となりました。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 36分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 2 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 20分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	小会議室 中会議室 講堂1・2 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 平成29年度実施事業

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区市民運動会 大町地区球技大会(ソフトボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフ) 北アルプス囲碁・将棋大会(年2回) 各種講座の開設 大町市文化祭	平地区市民球技大会(ソフトボール、ソフトバレーボール) 平地区少年少女球技大会 平地区市民運動会 平地区市民マレットゴルフ大会 平地区市民ゴルフ大会 スマイルボウリング大会 各種講座の開設 文化祭(ピュアフェスタ)	常盤地区球技大会(ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ) 常盤地区子ども球技大会 ゲートボール大会 常盤地区運動会 常盤少年駅伝競走大会 常盤囲碁・将棋・マーじゃん大会 常盤卓球・ソフトバレーボール大会 サークル活動展示会 各種講座の開設	社地区球技大会(野球、ソフトボール、ゲートボール、女子ソフトバレーボール、男女混合ソフトバレーボール、ゴルフ、マレットゴルフ) 子ども球技大会 社地区親睦運動会 元旦マラソン 各種講座の開設 社地区文化祭・民俗資料館特別展	美麻地区運動会 美麻地区夏季球技大会 (ソフトバレー、ゲートボール、グランドゴルフ) 探索ハイク 美麻地区文化祭 美麻地区冬季スポーツ大会 (綱引き大会) 各種学級・講座の開設	学友会お盆球技大会(ソフトボール、マレットゴルフ) 八坂地区運動会 八坂地区文化祭 郷土かるたもちつき大会 レクリエーションスポーツ大会 ナイターソフトボール大会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/1~3/31	43	200	初心者のためのデジタル一眼レフカメラ講座	6/2~6/30	5	25
菊づくり講座	4/30~9/17	6	10				
すくすく広場	6/1~3/8	18	1,188				
料理講座「ネパール料理に挑戦！」	3月18日	1	20				

平公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室ひよこクラブ	5/23~2/20	15	600	初心者のための山野草講座	6/24	1	24
S U P 講座	5/27~7/22	3	21	女性のための野菜の時間	4/25~11/20	7	56
花咲く書道講座	5/24~6/6	6	39	そば打ち講座	11/22~12/13	4	40
古道の散歩道 仁科三十三番札所めぐり	6/14~10/11	5	20	ひょうたんフットラップ講座	12/21	1	7

常盤公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
スポーツ吹矢教室	4/21~5/26	4	15	そば打ち教室	10/18~26	4	14
男性向け「バランスボール教室」	4/17、27	2	13	小学生向け「将棋講座」	2/14~28	3	18
鯨の峰へのぼろう	5/27	1	13	男性向け「バランスボール教室」	2/17~3/10	4	50

親子教室ともだち広場	5/31～2/28	16	590	わら細工講座 「円座とねこつぐら」	2/22～3/8	5	69
------------	-----------	----	-----	----------------------	----------	---	----

社公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室なかよし広場	5/17～2/21	19	560	そば打ち講座	12/11～12/15	3	23
ストレッチ&ヨガ教室	10/17～11/28	6	103	カフェランチ講座	1～3月	6	66
花咲く書道講座	11/14～11/28	3	21	歴史講演会 寺子屋講座	3/17	1	60

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
探索ハイク	6/5・8/27	2	66	介護予防教室転ばぬ先の墊	6/23～9/29	6	152
苔玉教室	7/8	1	15	自然体験教室	6/14～6/18	1	12
元気アップ講座	4/30	1	25	みあさ料理教室	4/13～3/20	11	130
親子教室パンダクラブ	5/16～3/2	10	109	高齢者・熟年学級	6/15～3/16	10	240
親子教室コアクラブ	6/8～3/2	5	38	男性のための貯筋塾	7/31～11/6	15	120
お手伝いし隊	7・8・3月	5	106	映画塾	8/8～10/6	3	39

八坂公民館

(平成29年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
自然体験教室	6/14～18	1	3	八坂塾(そば打ち講座)	11/28～12/15	6	64
高砂大学	6/13～3/8	10	590	すこやか広場	6/20～3/7	10	157
八坂地区交流登山	7/15～16	1	40				

大町公民館分室サークル一日体験開催状況(平成29年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
早春賦を愛唱する市民の会(唱歌)	11/12	10:00-12:15	大町短歌会(短歌)	11/14	13:00-16:00
せせらぎ会(俳句)	11/15	14:00-17:00	やまなみ会(俳句)	11/15	18:00-20:00
書草会(書道)	11/16	9:30-11:30	ライズ(社交ダンス)	11/16	19:30-21:30
大町童謡唱歌を歌う会(童謡唱歌)	11/17	10:00-11:30	日本空手道剛柔流剛誠館(空手)	11/17	19:00-21:00
Beans(英語での意見交換)	11/22	10:00-12:00	レザークラフト(革細工)	11/23	19:00-21:00
むつみ会(社交ダンス)	12/1	13:30-15:00	俳句クラブ(俳句)	12/5	13:30-15:50

大町公民館サークル一日体験開催状況(平成29年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
シニアのピアノ	6/15	10:00~11:30	スポーツ吹矢講座	1月	10:00~12:00

平公民館サークル一日体験開催状況(平成29年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
朗読はづきの会	9/10	10:00~16:00	大町太極拳クラブ	11/15, 22, 29, 12/6	19:00~21:00
式部の会(茶道)	10/21	10:00~12:00			

常盤公民館サークル体験開催状況(平成29年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
笑いヨガ	4/10 、 5/10	10:00~11:00	太極拳	4/18 、 25	13:00~15:00

(4) 利用状況

(平成29年度)

館名	利用件数	利用延べ人数	館名	利用件数	利用延べ人数
大町公民館	1,890	21,196	大町公民館分室	1,928	19,738
平公民館(女性未来館との合計)	1,697	20,149	美麻公民館	258	4,435
常盤公民館	1,210	14,294	八坂公民館	129	1,375
社公民館	278	4,798	蔵の音楽館	185	596

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行います。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指して、積極的に図書館サービスを行います。

さらに「子どもの読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しみ、成長段階に応じた読書ができる環境を提供するよう努めます。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図ります。
- ・ おはなし会など乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講じます。
- ・ 小中学校の学校図書館と連携し子どもの読書及び読書活動の推進を図ります。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい施設とサービスの提供を進めます。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図ります。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応えます。
- ・ インターネットのホームページを利用した情報提供を推進します。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図ります。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努めます。

(3) 施設

名 称	市立大町図書館	
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6	
建 物	R C 造 2 階建	
	床面積 1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 6 時（12 月～3 月 午後 5 時）
休 館	○毎週月曜日	○年末年始 ○館内整理日（毎月最終の火曜日）
	○資料整理点検期間（毎年 6 月中の必要期間）	

(4) 平成29年度図書館事業実施状況

事業名	内容	実施時期	参加対象者・数	方法
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・1歳6ヶ月児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	読書ボランティアおすすめ本 もんぺの会
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
民話人形展示	常時	一般		
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎月第3土曜日	幼児～大人	職員 ボランティア
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かっこう」の会 「はたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内8保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え(幼稚園) 2月 回収
高齢者施設読書推進	施設訪問による読み聞かせ	随時	施設入所者	職員・ボランティア
読書活動推進イベント	子ども読書の日・子どもの日イベント			4月下旬～5月上旬
	秋の読書週間イベント			11月上旬
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
ボイストレーニング&朗読講座	ボイストレーニング・朗読指導	4・6・8・10・12・2月	利用者全般	ボランティア講師
おおまの歴史講座	大町市の歴史についての講演会	5・6・7・8・9・10・11・12月	利用者全般	ボランティア講師
手づくり絵本巡回展	手づくり絵本の展示	4月下旬	利用者全般	ボランティア
もんぺのおばちゃんお話し会	もんぺの会お話し会	5・7・9・11・1・3	利用者全般	ボランティア
蔵書点検	図書の整理	6月5日～14日		休館
信州山の日企画 中嶋豊講演会	元県警山岳遭難救助隊員の 中嶋豊氏による講演会	7月9日	利用者全般	講師依頼
B o o K B o o K 2017	お話し会を中心としたイベント	10月21日	利用者全般	ボランティア
ステージメイク講座	ステージメイクの説明と実践	11月19日	利用者全般	講師依頼
本の福袋	テーマ別の本3冊を福袋にして貸出	1月上旬	利用者全般	講師依頼
ヨガ講座	心と体を整えるヨガ講座(全4回)	2月～3月上旬	利用者全般	講師依頼
フェルトままごと講座	こども用玩具をフェルトで作成	3月7日	利用者全般	講師依頼
豆本づくり講座	付箋に表紙を付けたミニ本を作成	3月17日	利用者全般	職員
季節のイベント	子どもの日・母の日・夏休み・ハロウィン・お正月工作	年間	利用者全般	職員
	七夕飾り	7月上旬	利用者全般	職員・ボランティア
	Xmasリース作り	11月23日	利用者全般	職員
	クリスマスお楽しみ会	12月16日	利用者全般	職員・ボランティア
	新春かるた大会	1月21日	利用者全般	職員・もんぺの会
リサイクル本	リサイクル本の配布	10・2月	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 平成29年度 子どもの読書活動推進

事業	内容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と1歳6ヶ月児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書の充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 おいでえほんのおへや	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫 《園児の選書力》 《親子読書の推進》	○園文庫の配本と巡回 ○各施設との意見交換及び状況確認	市内の3幼稚園、8保育園、 子育て支援センター、中央 保健センター(巡回は年2回)
② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習	市民全般(毎月) 小学生(毎月)
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催(子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等) ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡(図書館運営・蔵書・選書などの意見交換) ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表(協議会委員)
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生
③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催 *Book Book 2017	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実 *手づくり絵本*かっこう	○テープ図書の作成	障がいを持つ子ども
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(平成30年3月31日現在)

分 類		蔵書冊数	構 成 比	分 類		蔵書冊数	構 成 比
一 般 図 書	N 郷土資料	7,082 冊	5.1 %	児 童 図 書	児 童 図 書	32,345 冊	23.3 %
	0 総 記	3,839	2.8		紙 芝 居	1,069	—
	1 哲 学	4,248	3.1	合 計	138,675	100.0	
	2 歴史・地理	9,278	6.7	園 文 庫	3,804 点	—	
	3 社会科学	14,509	10.5	雑 誌	5,240	—	
	4 自然科学	8,069	5.8	視 聴 覚 資 料			
	5 工業・工学	7,842	5.7	C D	1,765 点	—	
	6 産 業	3,767	2.7	ビ デ オ	1,568	—	
	7 芸 術	11,047	8.0	D V D	677	—	
	8 語 学	1,923	1.4	テ ー プ 図 書	1,766 本	—	
	9 文 学	34,089	24.6	総 合 計	153,495	—	
	小計	105,693	—				
	文 庫	6,169	—				
	大 活 字 本	1,804	—				
参 考 図 書	376	—					
新 書	13,334	—					
点 字 図 書	637	—					

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(平成29年度)

分類		児童	一般	合計	構成比
一般 図書	0 総記	42	715	757 冊	0.94 %
	1 哲学	75	1,909	1,984	2.45
	2 歴史・地理	198	4,623	4,821	5.96
	3 社会科学	191	3,600	3,791	4.69
	4 自然科学	208	4,168	4,376	5.41
	5 工業・工学	916	11,998	12,914	15.98
	6 産業	157	3,049	3,206	3.97
	7 芸術	619	5,502	6,121	7.57
	8 語学	32	733	765	0.95
	9 文学	479	27,017	27,496	34.02
	E 絵本	8	31	39	0.05
	B 文庫	185	8,285	8,470	10.48
	D 大活字本	16	2,077	2,093	2.59
	R 参考図書	8	13	21	0.03
	S 新書	138	3,832	3,970	4.91
	小計		3,272	77,552	80,824
児童 図書	0 総記	180	251	431	0.87
	1 哲学	166	197	363	0.73
	2 歴史・地理	564	780	1,344	2.72
	3 社会科学	309	376	685	1.39
	4 自然科学	993	1,505	2,498	5.06
	5 工業・工学	363	642	1,005	2.03
	6 産業	121	217	338	0.68
	7 芸術	563	966	1,529	3.10
	8 語学	80	139	219	0.44
	9 文学	3,485	6,101	9,586	19.41
	E 絵本	7,278	22,502	29,780	60.29
	K 紙芝居	522	1,019	1,541	3.12
D 大活字本	9	23	32	0.06	
S 新書	8	35	43	0.09	
小計		14,641	34,753	49,394	100.00
郷土資料		32	818	850	—
雑誌		279	5,179	5,458	—
視聴覚資料					
C	D	214	2,058	2,272 点	—
ビ	デ	60	357	417	—
D	V	1,198	2,693	3,891	—
テープ図書		0	94	94	—
合計		19,696	123,504	143,200	—

イ 月別貸出数と登録者数

(平成29年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	25	12,866	515 冊	175	7 人	44
5	25	11,600	464	269	11	34
6	17	9,573	563	161	9	23
7	26	12,334	474	288	11	43
8	25	12,672	507	532	21	51
9	25	12,052	482	424	17	44
10	25	12,105	484	256	10	33
11	25	11,850	474	484	19	20
12	23	11,747	511	244	11	34
1	23	12,003	522	361	16	35
2	23	11,462	498	381	17	26
3	26	12,936	498	248	10	42
計	288	143,200	497	3,823	13	429

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
所在地 大町市大町8056-1
電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
敷地面積 39,875.92㎡
建物構造 鉄筋コンクリート地下1階地上3階
床面積 1階：1,224.9㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.8㎡ 地階：159.2㎡
付属施設 山岳図書資料館・付属園（本館裏）

(2) 平成29年度 資料収集事業

ア 収蔵資料

[平成30年3月31日現在]

人文科学系資料		自然科学資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山 岳	8,865	菌類（液浸標本）	129	哺乳類（剥製等標本）	242
山岳・美術寄託	610	蘚苔類（乾燥標本）	674	鳥類（剥製標本）	662
歴 史	12	維管束植物（液浸標本）	7	昆虫（標本ドイツ箱）	258
民 俗	937	維管束植物（さく葉標本）	4200	昆虫（未標本作製）	約4,600
美 術	448	魚類（液浸標本）	62	昆虫（液浸標本）	27
考 古	0	両性爬虫類（液浸標本等）	72	その他液浸標本	103
図書・AV	26,912	貝・甲殻類（液浸標本）	13	図書・AV	6,319
計	37,784	地 質(岩石、化石)	2,581	計	約19,949

イ 資料収集

山岳図書資料、山岳資料、民俗資料等15件2,251点を寄贈により受け入れ。
購入、製作により化石、図書資料、山岳資料を9点収集。

ウ 飼育動物・栽培植物

[平成30年3月31日現在]

種 名	雄	雌	不明	計	種 名	雄	雌	不明	計
ホンドタヌキ*	1			1	カルガモ*			1	1
ホンドキツネ*	1			1	アオクビアヒル*	1			1
ハクビシン*	2	1		3	トビ*			8	8
ニホンカモシカ*	1	3		4	チョウゲンボウ*	1	1		2
					ニホンキジ*	2			2
					キジバト*			2	2
					フクロウ*			1	1
					スパールバルライチョウ		3		3
					ニホンライチョウ	2	4		6
計	5	4		9	計	6	8	12	26

*保護動物を含む

傷病鳥獣保護受け入れ 哺乳類0種0個体、鳥類0種0個体（そのうち死亡0個体、放鳥獣0個体）
栽培植物73種

(3) 平成30年度 調査研究事業

ア 主な調査研究事業

- ① ライチョウ飼育繁殖に伴う調査研究
- ② 高山植物の生活史に関する研究
- ③ 爺ヶ岳におけるライチョウの生息域内の山岳気象観測
- ④ 後立山連峰周辺の山小屋に関する調査研究
- ⑤ 山岳書籍に関する資料調査
- ⑥ 爺ヶ岳山名由来と種まき爺さんの雪形伝承に関する考察
- ⑦ 仁科三湖の自然と文化に関する調査
- ⑧ 博物学に関する資料調査・研究

(4) 平成30年度 教育普及事業

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
企画展「北アルプス誕生—激動の500万年史—」	7月21日～11月25日

イ 常設展示

展示資料点数1,106点（自然科学系547点、人文科学系559点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「山の科学・研究トピックス」出張展示	4月、7月、11月、1月の各2週間	大町市役所
安曇野アートライン協議会 シンポジウム	9月23日	松川村鈴の音ホール

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会総会記念講演会「楽しく安全な登山のために」	4月15日
シンポジウム&ディスカッション「カクネ里氷河の魅力と岳のまち大町の未来」	6月9日
自然ふれあい講座「自然史王国信州を歩く—日本の氷河カクネ里編—」	6月23日
野外活動講座「花と昆虫—生物間関係を学ぶin針ノ木雪渓」	7月18・19日
自然ふれあい講座「みんなで温暖化ウオッチ セミのぬけがらを探せ！」	8月3日
さんばくこども夏期だいがく 親子化石教室「信州が海だった頃」	8月5日
北アルプス地質見学登山「爺ヶ岳にカルデラ湖があった頃」	8月18・19日
企画展特別講演会「地質探偵ハラヤマ先生 北アルプス研究の最前線を語る」	10月21日
秋のティールーム「北アルプスのふしぎ」	11月4日

オ その他の教育普及活動

名 称	期 間
学校との連携授業(市内小学校の博物館活用事業)	4月～3月
博物館実習の受入	8月1～6日 (6日間)
学習会等への協力(出張講座等)	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
市民登山への協力	8月
博物館資料の貸出(特別利用)	4月～3月
山岳図書資料館の利用	4月～3月
観覧者への展示解説(事前依頼者)	4月～3月

カ 情報発信

『山と博物館』の発行 季刊(春、夏、秋、冬) 市内全戸配布11,000部発行
 『山岳博物館研究紀要』の発行(第4号)
 『山岳博物館年報』の発行(平成29年度)
 インターネット・ウェブサイトの運用

キ 他団体との連携

大町博物館連絡会
 安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
 大町山岳博物館友の会
 長野県山岳総合センター
 ライチョウ会議
 信州大学山岳科学研究所との研究協力協定
 長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
 (公社)日本動物園水族館協会
 オーストリア・インスブルック市との友好提携協定

ク ミュージアムショップ・カフェの営業(委託:もるげんろ〜と)

(5) 平成30年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

動物の生体展示
教育普及への活用
傷病鳥獣の救護
希少種の保護・繁殖
施設整備(附属園整備構想及び計画の見直し)

イ 植物栽培繁殖



シンポジウム&ディスカッション「カクネ里氷河の魅力と岳のまち大町の未来」の開催



山岳博物館友の会創立40周年記念品の受領(同記念パーティー席上)



企画展「北アルプス誕生ー激動の500万年史ー」関連催し
「北アルプス地質見学登山ー爺ヶ岳にカルデラ湖があった頃」の開催

(6) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	18,294	10,427	101	795	2,782	440	613	3,136
28	16,890	9,774	98	709	2,442	433	540	2,894
29	18,692	10,210	77	735	3,084	230	1,176	3,180

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとします。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12 月から 3 月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っています。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介しています。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・簀（す）・すき舟・馬鋏（ませ）などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介しています。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめています。

(3) 利用状況

入館者状況

年 度	総 数
62	1,859 人
63	1,856
元	2,169
2	1,992
3	2,064
4	1,723
5	1,284
6	1,434
7	1,048
8	1,104
9	845
10	1,139
11	676
12	690
13	634
14	492
15	427
16	253
17	534
18	227
19	367
20	355
21	468
22	527
23	623
24	681
25	588
26	635
27	537
28	600
29	560

9 文化会館

文化都市おおまの創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、計画的な施設の改善を図りながら、市民要望に応じた優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 芸術文化活動の支援

市民の芸術文化活動の発表の場として、市民芸術祭を開催します。
また、自立して、団体独自で発表会等を実施する活動を積極的に支援します。

2 芸術文化に触れる機会の充実

劇団四季ミュージカルの公演等を実施し、市内の児童・生徒が、低料金で鑑賞できるようにするほか、市民ニーズに沿ったコンサートなどを開催します。
また、舞台芸術を身近で感じられるように、学校・施設等での演奏会を実施します。

3 芸術文化団体の育成・支援

大町市芸術文化協会への加盟促進を図りつつ、市内芸術文化団体のそれぞれの活動への支援を通して育成し、自主的な芸術文化活動を促進します。
大町市少年少女合唱団の団員の加入促進、集団活動を通じた子どもたちの人間形成を図るなどの活動の支援を通して、地域の子どもの育成を図ります。

4 市民参加と協働による特色ある文化の創設

市民参加による、地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、協働で事業を実施します。

5 文化施設の整備

計画的な改修に努め、市民芸術活動の拠点となる施設の整備と充実を図ります。

(1) 施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	T E L 0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（母子室、車椅子席あり）、リハーサル室、 練習室3室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、研修室（75人）、小会議室（25人）、 和室研修室（20人）、中会議室（50人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

(2) 平成29年度実施事業

事業名	期 日	主な出演者等
劇団四季ミュージカル「アンデルセン」	10月10日	劇団四季
「小朝・志らく・扇遊」三人会	10月13日	春風亭小朝、立川志らく、入船亭扇遊
綾小路きみまろ笑撃ライブ!!	10月24日	綾小路きみまろ
2017市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月3日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟 ほか
2017市民芸術祭Sky Blueコンサート	11月12日	器楽演奏・合唱の団体
2017市民芸術祭Dance2017	11月19日	ジャズダンス・モダンバレエ・ヒップホップダンス・クラシックバレエ
大町市文化祭70回特別企画 三四六トーク&ライブ『信州77分の1～小さくてもオオマチ』	11月5日	松山三四六
芸術文化ふれあい事業 ちっちゃなコンサート	12月10日	小谷口直子・塩見亮・杉江洋子
大町冬期芸術大学 第4期生成果発表パフォーマンス「ゆらぎわくるるるるるるる」	12月10日	冬期芸術大学 各コース受講生
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月24日	大町市少年少女合唱団
青薔薇海賊団 早春の大町公演 春は名のみ の～大町オペラの開演です!	2月25日	青薔薇海賊団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	3月4日	大町市芸術文化協会加盟団体
映画「ちえりとチェリー」	3月11日	高森奈津美、星野源、尾野真千子ほか（声優として）

(3) エコーホール利用状況

(平成29年度)

利用件数 117件
 利用者数 28,224人
 ホールオープンからの延べ利用者数 1,247,605人

(4) サン・アルプス大町利用状況

(平成29年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
件数	46	38	51	47	36	33	43	34	32	29
利用者人員	772	1,720	2,313	1,915	1,065	937	1,253	1,936	944	705
開館日数	26	22	26	25	26	24	25	25	24	23

月別	2	3	計
件数	36	41	466
利用者人員	1,134	1,871	16,565
開館日数	23	26	295

10 女性未来館ピュア

女性労働者や勤労者家庭の女性などを対象に、職業生活や家庭生活に必要な相談、指導、講習等を行います。また、レクリエーションなど余暇活動の場所と機会を提供し、女性の福祉を総合的に増進するよう努めます。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所在地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 平成29年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	ピュアに輝く女性講座	4～1月	10回	22人延189人
	女性のための野菜の時間	5～11月	7回	10人延56人
	水中運動	6月	5回	14人延47人
	文書作成パソコン講座	4月	8回	21人延120人
	欲ばり健康講座	5月～11月	7回	20人延125人
	保育サポーター養成講座	6～7月	5回	3人延16人
	整理収納講座	7月	1回	20人
	コーヒー入門講座	7月	3回	13人延34人
	ライフエッセンスビーズ教室	8～10月	3回	11人延31人
	古道の散歩道 仁科三十三番札所めぐり	6～10月	5回	23人延102人
	トールペイントで生活に彩りを	10月～11月	4回	9人延35人
	秋の草木染を楽しもう	10月～11月	3回	12人延28人
	はつらつヨガ講座	11月	4回	10人延37人
	四季の料理講座	12月～3月	4回	16人延67人
そ の 他	運営委員会	11・3月	2回	10人
	平地区男女共同参画	12月	1回	37人
	利用者の会清掃（春・秋）	5・11月	2回	156人
	第30回仁科の里ピュアフエスタ	11月	1回	250人
	サークル1日体験	随時	3サークル6回	40人
	ピュアコンサート	11月	1回	200人

(3) 平成29年度施設利用状況（平公民館との合計）

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総 数	女子労働者	勤 労 者 家庭主婦等	その他	備 考
----------------	-----	-------	----------------	-----	-----

総数	22,796	3,520	17,326	1,950	
個別利用	5,406	1,046	3,850	510	
グループ活動等による団体利用	13,310	2,209	9,956	1,145	
その他	4,080	265	3,520	295	

イ 年齢階層別利用者数

総数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
22,796	1,210	1,985	2,955	16,646



仁科三十三番札所めぐり



パソコン講座



欲ばり健康講座



草木染講座



1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか事務室、研究室、保存作業室、収蔵庫。 2 階…学習室 94 m ² のほか資料室、整理作業室、収蔵庫（貴重品庫）。 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の知 りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週日曜日、国民の祝日、年末年始
おもな収蔵品	市内各地の遺跡出土品（常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など） 加藤朝鳥（文筆家）資料<加藤寿々子寄贈品>、市所蔵・寄託古文書、市所蔵絵画など

(2) 利用状況（平成 29 年度）

文化財講座（5 回開催）受講者 76 人。資料閲覧利用者 41 人。

1 2 国重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	国重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋（おもや）…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 国重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴 史的資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日 及び翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

(2) 利用状況（平成 29 年度）

開館日数 180 日 入館者数 804 人

13 社会教育施設一覧表

平成30年10月1日現在

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	併設施設 入館料
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
文化会館	大町1601-2 0261-22-9988	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,172席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハール室(94㎡) ほか 展示室(90㎡) 研修室(75人) 大会議室(200人) 研修室(25人) 中会議室(50人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
文化会館 サンアール ブス大町	0261-22-8989				
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室3室 研修室2室 視聴覚室・同和教育資料室 図書室 料理実習室 講堂	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 作業室(20人)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378				
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	会議室(2室) 講堂 研修室(2室) 学習室(4室) 視聴覚室 栄養指導室	使用料金表による ◇中央保健センター
蔵の音楽館	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用量 1時間100円
図書館	大町4710-6	1,181.83	毎週月曜日・毎月最終火曜日 ・蔵書点検期間 (毎年6月中旬の10日間程度) ・年末年始 火・水・木・金(50年) 9:30~18:30 土・日・祝日 (4月~11月) 9:30~18:00 (12月~3月) 9:30~17:00	1階 一般コーナー、児童コーナー 新聞・雑誌コーナー、AVコーナー 2階 視聴覚室(兼学習室50人)、会議室 地域資料室、保存図書コーナー	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室) 整理作業室(2室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(80人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
ギャラリー いーざら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	不定期(展示期間外) 10:00~18:00	展示室1(88㎡) 展示室2(32㎡)	展示室1 7,000円 展示室2 3,000円
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30 土曜・日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 展示フロア 図書コーナー	使用料金表による ◇コミュニケーションセンター・アキツ
コミュニケーション センター・アキツ	八坂1133-1 0261-26-2380				
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (国重要文化財指定施設)	大人 300円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

近年の高度情報化や少子高齢化の進展等、社会情勢の変化によりライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツに対する意識や取組方も多様化しています。スポーツ種目の多様化や地域におけるスポーツを通じたコミュニケーションの拡大など、スポーツ活動の重要性が高まってきています。

こうした環境の変化に伴う余暇時間の増大や健康志向の高まりにより、スポーツや健康、体力づくりへの市民の関心が高くなる一方で、実際の活動に、なかなか参加できない市民も多く、また、多様化・高度化するニーズに対する環境は十分とはいえない状況です。

市民ひとり一人が、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上等により「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 平成30年度重点目標

ア 生涯スポーツの推進

- (ア) 各年代に対応した多様なスポーツ教室の充実、スポーツクラブ活動の促進
- (イ) 体力や年齢、興味、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりの推進
- (ウ) 生涯スポーツ推進のための情報発信
- (エ) 誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入と普及、指導者の育成

イ 競技スポーツの推進と指導者の育成

- (ア) 体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等各種スポーツ団体との連携による組織強化と人材育成等
- (イ) 全国・県レベルの各種スポーツ大会の開催・誘致及び交流事業の推進
- (ウ) 学校体育・部活との連携、地域指導者の発掘

ウ スポーツを通じたコミュニティづくり

- (ア) 総合型地域スポーツクラブの育成、支援等
- (イ) 各地域で実施するスポーツ大会や教室、健康づくり等による地域コミュニティの再生、支援
- (ウ) 地域特性を生かしたスポーツ振興

エ スポーツ施設の整備と有効活用

- (ア) 市民のスポーツ活動や健康づくり、交流の場等の拠点としての体育施設の整備、充実
- (イ) 市民のスポーツの推進や競技水準の向上のため、レベルの高い大会やイベント等が可能な施設、環境整備
- (ウ) 利用状況を踏まえた施設の有効活用、また、冬期間の運動不足の解消等に向けた屋内運動場の整備

(2) 事業計画

ア 各種スポーツ大会等の開催（主催大会）

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭（夏季） ・少年少女球技大会
8月	・木崎湖カップカヌー大会 ・おおまびよんカップサッカー大会
9月	・大北縦断駅伝大会の協力 ・大北スポーツ競技会 ・B&G会長杯争奪少年武道大会
10月	・大町アルプスマラソン ・スポフェスおおまち
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー、スノーボード大会
3月	・ワンバウンドふらばーるバレーボール大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室（年長児クラス）
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー教室 ・少年海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・スラックライン教室
成年期	・ママさんフリータイム広場（夏季） ・カヌー体験教室 ・スラックライン教室 ・親子対象スポーツ教室 ・スキー、スノーボード、クロスカントリー教室
実年期	（運動の習慣づけのための教室） ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・バランスボール教室 ・体力測定会

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

体育協会等と連携し立川市、氷見市、島田市とのスポーツ交流の派遣など

エ 体育協会等スポーツ団体との連携

- (ア) 体育協会事業全般にわたる支援
- (イ) 「大町スポーツクラブ」への支援
- (ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

- (ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力（海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキー体験活動、歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出し及びスポーツ推進員による指導など）
- (イ) 中学校部活動への支援（指導者の発掘、確保など）

- カ 体育施設利用調整会議の開催
 - (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
 - (イ) 大会行事等主催団体の利用調整（年1回）
 - (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
 - (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

- キ 体育施設の整備充実、保守管理
 - (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
 - (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
 - (ウ) 長距離走路公認更新
 - (エ) 総合体育館音響設備更新
 - (オ) 総合体育館避難誘導灯取替

- ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力
 - (ア) 大町アルプスマラソン
 - (イ) おおまびょんカップ復興支援サッカー大会
 - (ウ) 長野県縦断駅伝競走大会
 - (エ) スポーツ振興事業補助金の活用促進

- ケ 各種スポーツ指導者の育成
 - (ア) スポーツ振興事業補助金（指導者育成）の活用促進

- コ その他の施策
 - (ア) 総合体育館の有効活用の推進
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② スポーツ情報コーナーの活用推進
 - ③ 大町市公共施設予約システムの導入、運用

 - (イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携
 - ① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力
 - ② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名称	位置	開設年	面積	利用競技種目
1	西公園 運動場	大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面)・スケートリンク(冬季のみ1面)・ナイター照明
2	体育館	〃	S42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道・バスケットボール(1面)・剣道
3	陸上競技場 メインスタンド棟		S53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)
4	サッカー場 メインスタンド棟		S52年	1,097㎡	収容メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人
5	総合体育館		S63年	12,401㎡	更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・医務室(1)・便所ほか
6	マレットゴルフ場		S57年	739㎡	収容メインスタンド743人、芝スタンド2,000人
7	こども広場		S62年	900㎡	選手控室(4)・倉庫(3)・役員室(1)・放送室(1)・医務室(1)・便所ほか
8	弓道場		S62年	609.22㎡	大アリーナ(1,627㎡)・小アリーナ(558㎡)・ランニングコース(170m)・バレーボール(4面)・バドミントン(13面)・バスケットボール(3面)・卓球(20台)・体力測定室ほか
9	多目的広場		S62年	255.57㎡	ギヤラリー(固定席544)・収容人数2,500人
10	庭球場		S56年	10,005㎡	北コース 18ホール(パー72)
11	野球場		S58年	2,815.74㎡	南コース 18ホール(パー72)
12	メインスタンド棟		S61年	704.09㎡	速的(1面)・近的(1面)
13	第一屋内運動場		H6年	987.13㎡	射撃場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡
14	第二屋内運動場		H29年	1,977.58㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)
15	多目的芝生広場		H25年	2,700㎡	クレー(4面)・ナイター照明
16	体育研修センター		H27年	796.22㎡	全天候(4面)・ナイター照明
17	野球場		S35年	10,550㎡	野球(1面)
18	B & G 海洋体育館	〃 10352-2	S54年	1,627.8㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか
19	艇庫	〃 9707-2	S54年	450㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
20	多目的広場	社3945-3	S57年	11,279㎡	運動場(1,738.39㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(2面)・ミニサッカー(2面)
21	常盤運動場	常盤3516-38	S42年	9,845.41㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)
22	やしろ公園運動広場	社8200	H8年	5,000㎡	軽運動室・会議室
23	やしろ山下体育館	社4953-4	H29年	495㎡	野球(1面)
24	八坂運動場	八坂8408	S50年	11,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
25	八坂テニスコート	〃 8408	S50年	1,636㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(1面)
26	八坂トレニングセンター	〃 11642	S58年	1,703㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
27	八坂山村広場	〃 14850-120	S60年	6,000㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・ソフトボール(1面)・バドミントン(3面)
28	八坂ゲートボール場	〃 14850-120	H5年	1,467㎡	面)・テニス(1面)・卓球(4台)・第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道
29	八坂マレットゴルフ場	〃 8411-2	H5年	9,600㎡	カスー(27)・OPヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセーラー(9)ほか
30	美麻運動場	美麻14239	S48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ
31	美麻丸山運動場	〃 13707	H4年	28,873㎡	ネットなし：野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)
32	美麻テニスコート	〃 14250-1	H3年	5,857㎡	人工芝(6面)
33	大塩	〃 3366	S62年	1,171㎡	屋外(1面)
34	美麻ゲート	〃 28751-1	S57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明
35	二重屋内	〃 8410	H5年	1,411㎡	屋内(1面)
36	美麻トレニングセンター	〃 11690-1	S56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)

(学校施設)

名称	校称	位置	面積	利用競技種目
1 大町東小学校	運動場	社6700	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
2 大町西小学校	体育館		1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
3 大町南小学校	運動場	大町4773-3	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
4 大町北小学校	体育館		1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
5 大町南小学校	運動場	常盤3543-1	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
6 大町北小学校	体育館	大町5806-8	1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
7 八坂小学校	運動場		10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
8 八坂小学校	体育館	八坂1090	982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
9 美麻小学校	運動場	美麻27503	8,190㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
10 第一中学校	体育館	大町4528	1,027㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
11 仁科台中学校	運動場		12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
12 八坂台中学校	体育館	大町3759	1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
13 八坂台中学校	運動場	八坂11648	12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
14 八坂台中学校	体育館		4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
15 八坂台中学校	運動場		14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
16 八坂台中学校	体育館		1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
17 八坂台中学校	運動場		9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
18 八坂台中学校	体育館		1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

体育施設の利用状況

(人)

施設名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大アリーナ	31,299	34,233	37,048	33,382
小アリーナ	14,419	14,434	20,013	18,200
トレーニングルーム	4,276	4,861	5,876	6,689
陸上競技場	11,797	13,970	11,808	10,228
サッカー場	6,437	8,700	8,020	4,720
クレート庭球場	4,581	9,730	11,752	13,381
全天候庭球場	21,275	33,728	30,056	27,205
野球場	4,501	5,975	9,022	7,841
マレットゴルフ場	14,357	11,906	12,313	8,928
弓道場	2,878	2,789	1,919	2,513
多目的広場	17,806	13,839	14,970	10,602
第一屋内運動場	17,840	17,996	17,403	16,708
第二屋内運動場	-	-	-	13,369
多目的芝生広場	2,081	1,277	2,307	1,840
会議室	1,285	1,519	1,423	1,332
体育研修センター	-	3,687	2,962	3,157
B & G 第一体育室	7,990	8,939	9,337	9,484
B & G 第二体育室	3,589	2,890	3,472	3,216
B & G 多目的広場	4,166	4,023	3,738	3,860
社公園運動広場	7,370	6,353	7,195	5,383
西公園体育館	10,574	13,604	13,204	15,778
西公園運動場	7,999	9,219	7,723	8,453
平野球場	2,495	2,412	2,374	1,603
平運動場	9,142	10,170	7,735	4,364
常盤運動場	7,140	4,210	4,300	5,446
東小体育館	10,696	10,320	7,487	7,016
西小大アリーナ	15,440	4,421	13,090	15,109
西小小アリーナ	717	877	1,676	756
南小体育館	4,801	7,297	6,342	7,441
北小体育館	3,342	2,811	1,936	1,196
一中大アリーナ	8,094	7,888	7,681	7,737
一中小アリーナ	1,362	1,872	1,693	1,749
仁中体育館	8,480	7,780	8,662	6,198
仁中柔剣道室	643	603	302	403
東小グラウンド	864	668	850	768
西小グラウンド	370	940	1,215	770
南小グラウンド	200	0	184	450
北小グラウンド	696	609	800	746
一中グラウンド	60	30	48	0
仁中グラウンド	200	220	200	180
B & G 艇庫	1,058	953	1,170	715
八坂運動場	625	625	765	365
八坂テニスコート	10	200	42	6
八坂マレットゴルフ場	50	66	153	50
八坂トレーニングセンター	5,529	6,929	2,998	1,263
八坂山村広場	30	0	0	0
八坂ゲートボール場	1,193	1,290	1,475	1,380
八坂小学校グラウンド	375	0	0	0
八坂小学校体育館	360	863	285	266
八坂中学校グラウンド	0	40	0	0

八坂中学校体育館	0	0	0	0
(人)				
施設名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
美麻運動場	1,752	466	299	15
美麻丸山公園運動場	1,210	200	300	300
美麻テニスコート	2,237	2,747	2,726	2,139
美麻トレーニングセンター	3,454	1,986	1,885	1,263
大塩屋外ゲートボール場	260	420	0	0
二重屋外ゲートボール場	0			
二重屋内ゲートボール場	938	155	580	208
千見屋外ゲートボール場	260	310	0	0
美麻小中学校校庭	390	380	0	0
美麻小中学校体育館	210	103	0	0
合計	291,203	304,533	306,429	296,171

スポーツ大会等開催状況

(平成 29 年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
平成 29 年度 市民スポーツ祭 夏季大会 (体協共催)	7 月 2 日 7 月 9 日	開会式 運動公園陸上競技場 16 競技 運動公園ほか市内体育施設	1,317 人
平成 29 年度 少年少女球技大会	7 月 30 日	開会式 運動公園総合体育館 野球 3 チーム 男子ソフトバレー 6 チーム 女子ソフトバレー 7 チーム	102 人
おおまびよんカップ 女子サッカー大会 ～福島県復興支援～	8 月 5 日 ～6 日	会場 運動公園サッカー場・ 陸上競技場・多目的広場 参加 18 チーム (福島県 2 チーム招待) (主催 おおまびよんカップ女子 サッカー大会実行委員会)	330 人
第 67 回 大町市民登山	9 月 2 日 ～3 日	爺ヶ岳	10 人
第 16 回 大北スポーツ競技会	9 月 24 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 12 か所、11 競技	1,078 人
第 34 回大町 アルプスマラソン	10 月 15 日	開会式 運動公園陸上競技場 (主催 アルプスマラソン実行委員会)	3,406 人
第 38 回 B & G 少年武道大会	9 月 24 日	会場 B & G 体育館	81 人
北アルプスバドミントン大会	1 月 5 日 ～8 日	会場 運動公園総合体育館 仁科台中学校体育館 シングルス男・女 ダブルス男・女	502 人
バドミントン S/J リーグ大町大会	1 月 28 日	会場 運動公園総合体育館 日本ユニシス VS 北都銀行 (女子) トリッキーパンダース VS 三菱自動車京都 (男子)	1,460 人
平成 29 年度 市民スケート大会	平成 30 年 2 月 4 日	会場 西公園スケート場 分館対抗によるスケート競技 (競技主管 大町市スケートクラブ)	50 人
平成 29 年度 市民スキー大会	平成 30 年 2 月 18 日	会場 鹿島槍スキー場 分館対抗によるアルペン大回転競技 (競技主管 大町市スキークラブ)	144 人
第 6 回 ワンバウンドふらば ーるバレー大会	平成 30 年 3 月 11 日	会場 運動公園総合体育館 参加 8 チーム (主管 大町市スポーツ推進委員会)	50 人

スポーツ教室の開催状況

(平成 29 年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
ママさん フリータイム広場	6月14日 ～7月12日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 キンボールほか 指導者 スポーツ推進委員	72人 (託児あり)
運動遊び教室 (年長児2クラス)	5月15日 ～10月23日 (全18回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	1,512人
バランスボール教室	9月8日 9月15日 (全2回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 バランスボール 指導者 太田陽子先生	44人
スラックライン教室	6月17日 ～12月2日 (全8回)	会場 運動公園内 内容 スラックライン 指導者 スポーツ推進委員	320人
ポールを使ったウ ォーキング教室	6月22日 (全1回)	会場 運動公園ほか 内容 ポールウォーキング 指導者 スポーツ推進員	6人
親子ふれあい スポーツ教室	11月17日 ～12月22日 (全6回)	会場 仁科台中学校体育館 内容 ニュースポーツほか 指導者 スポーツ推進委員	354人
小学生スキー教室	1月20日 ～2月3日 (全2回)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	120人
スキー・スノボ・ク ロスカントリー教 室 with ママさん フリータイム広場	1月22日 2月3日 (全2回)	会場 爺ガ岳スキー場ほか 内容 母親対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	33人 (託児あり)
ワンバウンドふら ばーるバレー教室	2月20日 ～3月6日 (全3回)	会場 仁科台中学校体育館 内容 ワンバウンドふらばーるバレー 指導者 スポーツ推進委員	33人
エンジョイスキー タイム	2月14日 2月21日 (全2回)	会場 爺ヶ岳スキー場 内容 スキー 指導者 スポーツ推進委員	14人
小学生等カヌー体 験教室	6月3日 ～8月22日 (全11回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌー 指導員 職員	278人
ボルダリング教室	6月23日 (全1回)	会場 山岳総合センター 内容 ボルダリング 指導者 小沼 拓也	6人
フラダンス教室	7月14日 (全1回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 フラダンス 指導者	11人
キッズ運動遊びど こでもゼミナール	7月17日 (全1回)	会場 総合体育館 内容 子どもの運動遊び 指導者 柳澤 秋孝	99人

スポーツ教室の開催状況

(平成 29 年度)

クライミング&スラックライン教室	8月6日 (全1回)	会場 運動公園内 内容 クライミングとスラックライン 指導者 山岳総合センター、スポーツ推進員	30人
パーソナルトレーナーによるトレーニング講座	5月25日 ～3月22日 (全22回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 トレーニング 指導者 長谷川 幸	310人

V 資 料 集



きらり おおまち サンプラン

大町市の子どもたちの健やかな成長を願って、共通に実践していくプランをきらり おおまち サンプランと名付けました。こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン(サンプラン)をキャッチフレーズに、親子でより良い生活習慣づくりに取り組みましょう。



「あいさつ」「読書」「お手伝い」

- 大人から進んであいさつを
- テレビを消して親子で読書を
- 子どもにも家庭の中での役割を

こころづくり

きらりかがおし

おまじろ



大町市キャラクター おおまびよん



からだづくり

「歩き」「運動」「外遊び」

- 増やそう歩く機会を
- 休日には家族で運動や自然体験を
- 元気いっぱい外遊びを



リズムづくり

「早寝」「早起き」「朝ごはん」 「ルールを決めて、スイッチオフ」

- 子どもが寝られる環境づくりを
- バランスの良い朝食を
- 情報機器利用のルールづくりを

こころづくり

あいさつ・読書・お手伝い

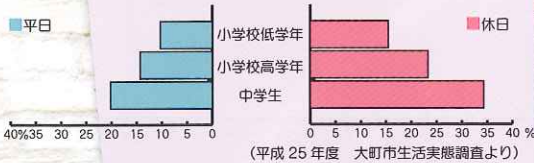
あいさつは
人の心の扉を開く
魔法の鍵

あかるく
いつも
さきに
つづけて

あいさつをしましょう。



読書を全くしない子どもの割合



たくさんの本との
出会いは
豊かな心を
育てます

平成25年度大町市生活実態調査では、子どもたちの読書量は学年が進むにつれて少なくなる傾向にあります。読書は脳を耕し、想像力を高め、テレビを消して読書に親しみましょう。

1日、30分以上の読書時間を確保しましょう

お手伝いを
進んでする子は
思いやりの心が
育ちます

家庭で子どもが役割を持ち、その役割を果たす体験を重ねることで、家族の一員としての意識や責任感を身につけていきます。また、自尊感情や規範意識を高めることにもなります。

取り組みの
ポイント

- 簡単で、毎日できることから始めましょう。
- うまくいかないときは、どうしたらうまくいくか一緒に考えてみましょう。
- 感謝の気持ちを伝え、家族の役に立っていることや必要とされていることを感じさせましょう。

からだづくり

歩き・運動・外遊び

体力は、
生きる力の
源です

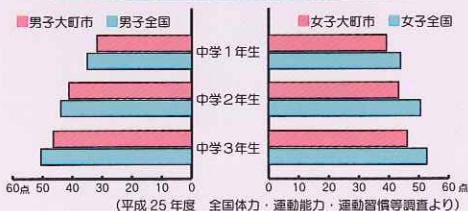
体力の向上には、
毎日の運動習慣の
定着が重要です

平成25年度全国体力・運動能力調査の結果によると、市内中学生の体力に関する合計点は、全体に全国平均を下回っています。原因としては、幼児期からの外遊びの減少、小学生の自家用車による送迎の増加、徒歩の機会の減少など、日常生活における運動量が不足していること。また、授業以外にはあまり運動をする習慣や機会のない児童・生徒が増加していることなどが考えられます。



学校での生活も含め、1日1時間以上の運動時間を確保しましょう

中学生の体力合計点の比較



取り組みの
ポイント

- 日常生活の中で運動する機会を増やしましょう。
 - ・幼児期から外遊びを大事にしましょう。
 - ・登下校など、歩くことを大事にしましょう。
- 休日は子どもと共に運動や自然体験をしましょう。
 - ・手軽にできるスポーツから始めましょう。
 - ・地域の行事にも積極的に参加しましょう。

リズムづくり vol.1 早寝・早起き・朝ごはん

生活リズムづくりは、
一日の始まりと
終わりから

睡眠は深い眠りと浅い眠りを繰り返し、成長ホルモンが大量に分泌されるのは、最初の深い睡眠時(睡眠後1~2時間)です。成長ホルモンは夜10時頃に最も活発に分泌されることから、できるだけこの時間には深い眠りについていることが大切です。



睡眠は、
学習の定着とも
深い関係があります

(平成25年度全国学力・学習状況調査より)
〈平均正答率が最も高かった睡眠時間帯〉
小学生：8時間以上9時間未満
中学生：(国語)6時間以上7時間未満
(数学)7時間以上8時間未満

適切な睡眠をとる習慣をつくりましょう
(睡眠時間のめやす)
・保育園・幼稚園児 … 10時間以上
・小学生 … 8時間~10時間
・中学生 … 7時間~8時間

バランスの良い
食事を



食事の中でも朝食は重要です。朝食を少ししか食べない子どもは、脳で使われるエネルギーが不足し、集中力が続きません。

取り組みの
ポイント

○ご飯・具たっぷりの味噌汁・魚・納豆など、主食・汁物・主菜・副菜を意識した朝食にしましょう。

リズムづくり vol.2 ルールを決めてスイッチオフ

情報機器の適切な
使用にあたって
ルールづくりが
不可欠です

近年、テレビやゲームへの長時間接触の問題に加え、インターネットに接続できる携帯型ゲーム機やポータブルメディアプレーヤー、スマートフォンが普及したことで、これら情報機器の使用に関わる様々なトラブルが懸念されています。



ゲームに夢中になったりメールを自分からやめられなかったりして、深夜まで長時間行うことで生活が乱れます。

ネット利用の
問題

送った写真がネットで拡散し、誰の手に渡るかわかりません。トラブルにも繋がります。

テレビやゲーム、インターネット等の使用時間は、1日、2時間以内にしましょう

軽い気持ちで書き込んだ悪口により、友だちを傷つけてしまいます。

個人情報第三者に公開することで、犯罪やトラブルに巻き込まれる恐れがあります。

取り組みの
ポイント

○情報機器やインターネットに関する正しい知識を持ちましょう。
○使用にあたっては子どもと一緒にルールをつくり、きちんと守らせましょう。
○幼児期からの接触を避けるためにも、まずは、テレビの視聴やスマートフォン等の使用について、親自身の姿勢を見直してみよう。

親子で生活習慣を見つめ直して、目標を立ててみよう!

《今の自分》の行動を書き出して表1と表3に記入しよう。

自分の生活習慣を見直し、《目標》を立て、表2と表4に記入しよう。

平日
の一日の過ごし方の計画を立てよう

表1 今の自分

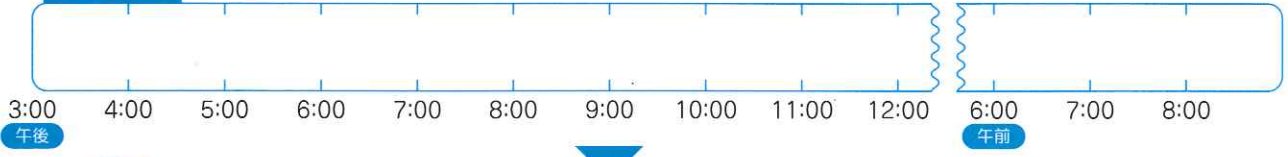


表2 目標

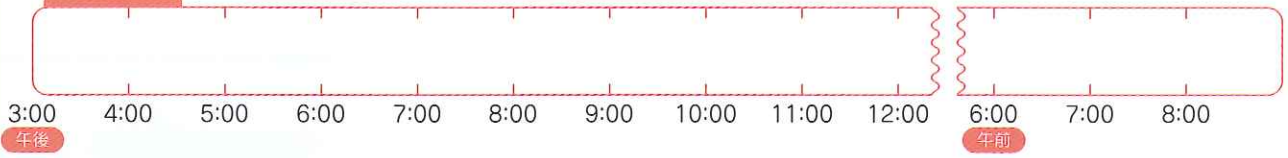


表3
今の自分

睡眠	起床時間	時 分
	就寝時間	時 分
	睡眠時間	時間 分
学習の時間		時間 分
読書の時間		時間 分
運動の時間		時間 分
テレビやゲームの時間		時間 分

表4
目標

睡眠	起床時間	時 分
	就寝時間	時 分
	睡眠時間	時間 分
学習の時間		時間 分
読書の時間		時間 分
運動の時間		時間 分
テレビやゲームの時間		時間 分

休日
の一日の過ごし方の計画を立てよう

表1 今の自分

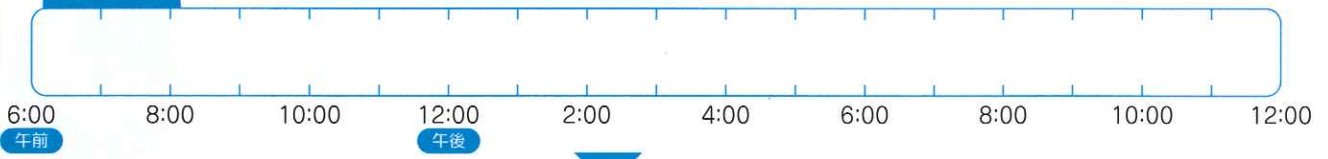


表2 目標

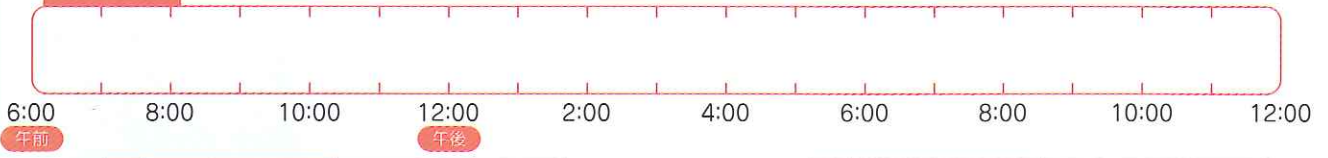


表3
今の自分

睡眠	起床時間	時 分
	就寝時間	時 分
	睡眠時間	時間 分
学習の時間		時間 分
読書の時間		時間 分
運動の時間		時間 分
テレビやゲームの時間		時間 分

表4
目標

睡眠	起床時間	時 分
	就寝時間	時 分
	睡眠時間	時間 分
学習の時間		時間 分
読書の時間		時間 分
運動の時間		時間 分
テレビやゲームの時間		時間 分

しょうがっこう にゅうがく 小学校へ入学するみなさんへ

おおまちせいしょうねんいっせいしみんかいぎ
大町市青少年育成市民会議
おおまちこどもかいいくせいらくきょうぎかい
大町市子ども会育成連絡協議会
おおまちしびーていーえーれんごうかい
大町市PTA連合会
おおまちしきょういっくいんかい
大町市教育委員会



インターネットのルールを守りましょう

じかん やくそく まも
時間などの約束を守る



ゲームやネットをする時間、
やってよい場所など、家の人
と決めた約束はかならず守り
ましょう。

じぶん おし
自分のことを教えない



自分のことや家族のことを
ネットで教えてはいけません。
悪いことに巻き込まれる
ことがあります。

きがる しゃしん おく
気軽に写真を送らない



人に見られて困る写真はネッ
トに送ってはいけません。
送った写真は二度と取り戻せ
ません。

インターネットを使うときには、守らなければいけないルールがあります。
それは、インターネットをみんなが安心して楽しく使うためです。ルールを知らないまま使うと、
こわい思いをしたり、友だちをかなしい気持ちにさせたりしてしまいます。

とも わるくち か
友だちの悪口を書き
こ込まない



友だちの悪口や人を困らせるよ
うなことを書き込んではいけま
せん。友だちに悲しい思いをさ
せないようにしましょう。

み
見てはいけないサイト
は見ない



子どもが見てはいけないサイ
トがあります。家の人にフィ
ルタリングをかけてもらい、
見ないようにしましょう。

知らない人とはゲーム
などしない



知らない人とインターネット
を使ってゲームやメールをし
てはいけません。トラブルに
巻き込まれてしまいます。



家族でよく話をして、一緒にルールをつくりましょう。
困ったときは、必ず家族や先生に相談しましょう。

じょうほうきき き りょう やくそく 情報機器・ゲーム機・ネット利用の約束

わたし、じょうほうきき ゲーム機・インターネットを使用するにあたり、したか
私は、情報機器・ゲーム機・インターネットを使用するにあたり、下^{した}に書いて
あることをかならずまもります。もしまもれない場合は機器を家の人にあず
まもります。もしまもれない場合は機器を家の人にあず

やくそく ひ へいせい ねん がつ にち
約束をした日 平成 年 月 日

じぶん
自分のなまえ

ほごしゃ しめい
保護者の氏名

1 しょう じかん ばしょ 使用する時間や場所について

ゲームやネットは、1日「^{ふん い ない}」分以内で、
^{よる}夜「^{じ す}」時過ぎは使いません。

食事中は使いません。

ネットやゲームは家族のいるところで使います。

家の外ではネットやゲーム通信をしません。

2 じぶん まも 自分を守るために

子どもが見てはいけないサイトは見ません。

知らない人に名前やパスワードを教えません。

知らない人とゲームやメールをしません。

家の人に機能制限やフィルタリングを設定してもらいます。

3 ほか ひと きず 他の人を傷つけないために

悪口や写真をネットに送りません。

友だちや家族のことをネットで教えません。

※ 空欄の○には、あたら やくそく か い
新しい約束があれば書き入れましょう。

いえ ひと やくそく いえ み は
家の人と約束したら、家の見えやすいところに貼っておきましょう!

平成30年度 教 育 要 覧

平成30年11月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
